

第七十三回帝國議會
衆議院

陸上交通事業調整法案委員會議錄(速記)第一回

付託議案
陸上交通事業調整法案(政府提出)

(一一一)

昭和十三年三月八日(火曜日)午後一時三十
五分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 星島 二郎君

理事佐藤洋之助君 理事清水徳太郎君

理事紅露 昭君

堤 康次郎君

松永 東君

坂下仙一郎君

山田 清君

深澤豊太郎君

上田 孝吉君

増永 元也君

淺沼稻次郎君

道家齊一郎君

出席國務大臣左ノ如シ

鐵道大臣

中島知久平君

出席政府委員左ノ如シ

內務政務次官

勝田 永吉君

内務省土木局長

安藤狂四郎君

鐵道政務次官

田尻 生五君

鐵道參與官

金井 正夫君

鐵道省監督局長 鈴木 清秀君

鐵道省運輸局長 山田新十郎君
鐵道省工務局長 阿曾沼 均君

鐵道省經理局長 池井 啓次君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

陸上交通事業調整法案(政府提出)

○星島委員長 ソレデハ是カラ陸上交通事

業調整法案ノ委員會ヲ開キマス、最初ニ政

府ヨリ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○中島國務大臣 陸上交通事業調整法案提

出ノ理由ニ付キマシテ御説明申上ゲマス、

御承知ノ如ク我ガ國運ノ隆昌ニ伴ヒマシテ、

陸上交通事業ハ近年非常ナル發達ヲ來シテ

参ッタノデアリマスガ、其反面ニ於キマシ

テ事業相互ノ連絡統一ヲ缺キ、併立競争ノ

弊ヲ示ス事例モ勘カラザル狀態ニ立至リマ

シタコトハ、邦家ノ爲メ洵ニ遺憾トスル所

デアリマス、仍テ事業者間ニ於キマシテモ

事業相互ノ調整ヲ希望シ、政府ニ於キマシ

テモ調整ノ趣旨ヲ以テ行政ノ運用ヲ圖ッテ

ノ地方ニ於キマシテハ、更ニ進ンデ國家ガ

大局的見地カラ計畫ヲ決定シテ、其決定ニ

基イテ、事業者ヲシテ公正妥當ナル調整ノ

スルト共ニ、利用者ノ便益ヲ増進シ、併セ

マシテモ、資本ノ浪費ニ依ル不經濟ヲ防止

スルト共ニ、利用者ノ便益ヲ増進シ、併セ

シマシテ、事變中ハ固ヨリ、事變後ニ於キ

マシテモ、資本ノ浪費ニ依ル不經濟ヲ防止

スルト共ニ、利用者ノ便益ヲ増進シ、併セ

マシテモ、資本ノ浪費ニ依ル不經濟ヲ防止

スガ、此中會社合併又ハ設立ニ付キマシテ
ハ、主務大臣ガ關係事業經營者ニ勸告ヲ爲
スコトトシ、其他ノ事項ハ其實施ヲ命令ス
ルコトト致シテアリマス、此勸告又ハ命令
ニ基キ事業經營者ガ相互ノ間デ協議ヲ纏
メ、調整ガ行ハレルノデアリマスガ、萬一
協議ガ纏マラナイ場合ニハ、其纏マラヌ事
項ヲ主務大臣ガ裁定ヲスルコトニ相成ダテ居
リマス、此裁定ニ關シテモ交通事業調整委
員會ノ意見ヲ徵シテ爲スコトニナッテ居リ、
裁定ノ價額ニ不服ナ者ニハ通常裁判所ニ出
訴スル途モ開カレテアル次第デアリマス
尙ホ本法案ニハ、調整ノ實施ニ依リ出來
上ツタ會社ノ監督ニ關スル規定、調整ノ實施
ニ伴フ會社ノ合併成立又ハ不動産ノ移轉ニ
對スル稅ノ減免ニ關スル規定、本法案ニ依
ル認可ヲ受ケレバ他ノ法令ニ依ル免許、認
可等ヲ受クルニ及バヌト云フ事務簡捷ノ規
定、法令又ハ處分ニ違反シタ場合ノ制裁ノ規
定等ヲ設ケタノデアリマス
最後ニ交通事業調整委員會ニ付テ一言申
上ゲマス委員會ニ關スル規定ハ勅令ニ依ル
コトニ相成ダテ居リマスガ、只今ノ腹案ト致
シマシテハ、委員トシテ貴衆兩院議員、學識

經驗者、關係各廳高等官等ヲ以テ組織シ、之ニ地方ノ事情ニ通曉シタ人ヲ臨時委員トシテ加へ、地方ノ特殊事情ヲモ十分參酌シ得ル仕組ニ致シタイト考へテ居リマス

以上ヲ以テマシテ陸上交通事業調整法案提出ノ理由竝ニ其内容ノ大綱ヲ御説明申上ゲタノデアリマス、何卒速ニ御審議ノ上御協贊アランコトヲ切望致ス次第デアリマス

○紅露委員 議事進行ニ付テ發言致シタイ

ノデアリマスガ、御許シヲ願ヒマス

○星島委員長 宜シウゴザイマス

○紅露委員 目下貴衆兩院ニ於キマシテ幾多ノ法案ガ上程サレ、又一齊ニ委員會ガ開カレテ居ルノデアリマス、私共ノ質問モ總體質問ト申シマスカ、大臣ニ御伺致シタイ

點ハ二三點デアリマシテ、詳細ナル點ハ大臣ニ御伺スルヨリハ寧ロ政府委員ニ御伺シ

タ方ガ宜イヤウナ法律問題ガ、私ノ質問ニハ多イノデアリマス、例ヘバ商法トノ關係、或ハ民法トノ關係、國稅徵收法トノ關係、或ハ行政執行法トノ關係トカ、色々サウ云フヤウニ私ノ質問ハ主トシテ法律問題ニ亘ツテ居リマス、無論本法案ハ良イ思付デモアリマスシ、多年鐵道省デモ御研究ニナッテ居リ、業者モ相當研究モシテ居リマスシ、長所モアリマスシ、學者モ實際家モ其成立ヲ望

ンデ居リマスノデ、恐ラク委員各位モ本法案ヲ成立セシメルコトニ付テハ何人モ異存ハナイト思ヒマス、サウ云フヤウナ情勢デアルトシマスナラバ、成ベク議事ヲ進行セシメタイ、就キマシテハ、此前小運送法案デヤリマシタヤウニ、大臣ガアチニ行ッタリ、コッチニ行ッタリ、貴族院ヘ行ッタリ、衆議院ヘ御出席ニナッタリサレテ、ドウモ大臣ニ御質問ヲ申上ゲル機會ガ少少イノデアリマス、ソレデ委員長カラ一應御諮詢リヲ願ヒマス、ソレカラ更ニ細カイ點ヲ政府委員シテ、大體質問ノ順位ニ拘ラズ、一日ナリ

或ハ二日位ノ大體ノ豫定ノ時間ヲ限リマシテ、大臣ニ御出席ヲ願シテ、先づ大臣ニ對スル大體質問ト申シマスカ、所謂總體質問ヲ終ヘテ、ソレカラ更ニ細カイ點ヲ政府委員ト思ヒマスガ、清水君ノハヤハリ大臣ダケニ伺フト云フヤウナ風ニ御取扱ヲ願フコト

○紅露委員 左様デス

○星島委員長 ソレデハサウ云フ意味ニ於キマシテ、慣例ニ依リマシテ、今御申込ノ

民政黨ノ清水德太郎君ニ御質問ヲ許シタイト思ヒマスガ、清水君ノハヤハリ大臣ダケニ御質問デゴザイマスカ

○清水委員 左様デス

○淺沼委員 質問ニ入ル前ニ資料ヲ請求シ

イカト考ヘマス、ソレデ別ニ動議トシテ提出スルト云フ譯デモアリマセヌガ、委員長カラ各委員ノ方々ニ御諮詢リヲ願ヒタイト思ヒマス

ヒマス

○星島委員長 只今紅露君ノ御發言御尤ト

思フノデアリマシテ、委員長ト致シマシテモ左様取計ヒタイト思フノデアリマスガ、

今日ハ尙ほ追加豫算ガ本會議ニ出テ居リマスカラ、其本會議ノ採決ニ入ル前ニ幹部ノ

方カラコチラヘ知ラセテ來ルヤウニナッテ居リマスノデ、其時ニハ一時コチラヲ休憩ニ伯林ニ於テハ、統制ガ可ナリ徹底シテ居致シマシテ本會議ニ出ルコトニ致シマス、アルトシマスナラバ、成ベク議事ヲ進行セスカラ、主トシテ只今ノ紅露君ノ御發議ノシメタイ、就キマシテハ、此前小運送法案デヤリマシタヤウニ、大臣ガアチニ行ッタリ、コチニ行ッタリ、貴族院ヘ行ッタリ、衆議院ヘ御出席ニナッタリサレテ、ドウモ大臣ニ御質問ヲ申上ゲル機會ガ少少イノデアリマス、ソレデ委員長カラ一應御諮詢リヲ願ヒマス、ソレカラ更ニ細カイ點ヲ政府委員シテ、大體質問ト申シマスカ、所謂總體質問ヲ終ヘテ、ソレカラ更ニ細カイ點ヲ政府委員質問ヲ願フ、斯ウ云フコトニシタラ如何デスカ、アナタノ御説モサウデスネ

○紅露委員 左様デス

○星島委員長 尚ホ此間坂下君カラノ御質問ノ資料ハ、他ノ部分ハ出テ居リマスガ、地圖ハ中々難カシイノデ一枚ダケ茲ニ提出サレテ居リマス、之ヲ皆デ御覽ヲ願フヤウニ致シタイト思ヒマス、ソレデハ清水德太郎君

ニ御諒承ヲ願ヒマス

○星島委員長 尚ホ此間坂下君カラノ御質問ノ資料ハ、他ノ部分ハ出テ居リマスガ、

地圖ハ中々難カシイノデ一枚ダケ茲ニ提出サレテ居リマス、之ヲ皆デ御覽ヲ願フヤウニ致シタイト思ヒマス、ソレデハ清水德太郎君

ニ御諒承ヲ願ヒマス

○清水委員 マダ十分研究致シテ居リマセスカラ、詳細ナル質問ハ出來マセヌガ、要

ト思ハレル點ヲ一二大臣ニ伺ッテ見タイト思フノデアリマス、私共ノ常ニ心配シテ居リマスル點ハ、省營自動車ト民間自動車トノ關係、地方鐵道ト國有鐵道ノ關係ニ於

キマシテ、丁度陸上交通事業調整法ノ趣旨ニ適合スルヤウナ問題ニ屢々出會スノデアリマシテ、サウ云フ場合ニハ、從來ノ鐵道省ノ取扱方ト、此陸上交通事業調整法ガ出來タ後ノ取扱方ト違フ所ガアリマスカドウカ

ヤウナ有様テアリマシテ是等ハ各自己テ
随ヒマシテ其施設ハ不統一デ連絡ヲ缺キ、
又利用者ノ方カラ見マスレバ非常ニ不便デ
アツテ、高イ運賃ヲ拂ウテ居ル、又經營者ノ
方カラ見マシテモ重複セル施設ヲシテ居ッ
テ、資本ヲ二重ニ投下シテ居ル、斯様ナ有
様デアリマシテ、非常ニ交通機關ト致シマ
シテハ拙イ經營デアルノデアリマス、ソコ
デ私ハ第七十回、第七十一回、又今回、此
三度ニ瓦リマシテ交通機關調整法案ヲ出シ
マシテ、昨年ノ議會ニ於キマンテハ本會議
ヲ通過シテ委員會ニ付託サレタノデアリマ
シタ、私ハ此法案ガ一日モ早く成立實施セ
ラレシコトヲ望ンデ居リマシテ、當時本案
ニ對スル政府委員ノ意見ヲ御尋致シマシタ
ガ、其時政府委員ノ御答辯ハ、趣旨ニハ贊
成デアルガ其時期デハナイト、去年此議會
ニ於テ仰シヤッタノデアリマス、所ガ殆ド内
容ニ於キマシテハ私ノ提案ト同ジヤウナ提
案ヲ、一年經ツカ經タヌカノ間ニ見ルニ
至ツタコトハ、固ヨリ喜ブベキ事デハアリマ
セウケレドモ、私ハ頗ル遺憾ニ感ズルノデ
ゴザイマス、去年ノ議會ニ於キマシテ、委
員會ニ於テ趣旨ハ贊成デアル、併シ時期デ
ナイト言ウテ置カレナガラ、一年ノ間ニ同

ハ、此頃ヨク謂ヒマスル所ノ所謂官僚獨善ノ御考ヲ持ツテ居ルノデハアルマイカト云フコトヲ、非常ニ遺憾ニ思ヒマス、若シアラバ、恐ラクハ東京大阪等ノ交通機關ノ調整ヲ必要トスル地方ニ於テハ、何等カノ調整ニ關スル著手ガ出來テ居タデアラウ、斯様ニ考ヘマス時ニ、私ハ頗ル遺憾デアルト云フコトヲ前提トシテ申上ゲテ、質問ニ取掛リタイト考ヘマス

第一ニ御伺シタイノハ、此間紅露君ガ本會議ニ於キマシテ質問セラレマシタ交通行政統一ノ問題デアリマス、大臣ハ交通行政統一ノ質問ニ對シマシテ、非常ニ共鳴セラレマシテ、相當考慮セラレル、ヤウナ御意向ノヤウニ拜承致シマシタガ、私紅露君ニ對スル御答辯ダケデハマダ満足スルコトガ出來ナイ大キナ問題デアルト考ヘルノデゴザイマス、陸上ノ交通機關ヲ今回ノ法律案ノ如ク統制スルコトモ固ヨリ必要デゴザイハズ、全ク亂立シテ居ルヤウナ狀態デゴマスルガ、我國ニ於ケル現在ノ交通行政ハ、實際陸上交通ト言ハズ、水上交通トモノガアルト思フノデゴザイマス、是ハ私

状態ヲ喚起シツ、アル、鐵道大臣ト致シマシテハ、國有鐵道ト省營自動車ヲ管掌セラル、ノ外、地方鐵道、軌道、自動車交通事業法ヲ管掌セラレル、遞信大臣ハ郵便、電信、電話或ハ航路標識ヲ管掌シ、航空ニ關スル所ノ事業ヲ掌ル、其外尙ホ造船、水運ト云フヤウナ事柄ガ總テ遞信大臣ノ御管轄ニ屬シテ居ルノデアリマス、内務大臣ハ何ヲ管轄スルカト申シマスルト、道路、河川、港灣、運河ニ關スル所ノ事項ヲ管掌シテ居ルノデアリマス、此交通機關、吾々ノ日常生活ニ缺クベカラザル所ノ交通機關、三省大臣ノ間ニ管掌セラレテ居ル、此官制ノ關係カラ見テ參リマスルト、陸運ハ遞信省ト鐵道省ト内務省トノ三省ニ分轄セガ、三省大臣ノ間ニ管掌セラレテ居ル、此属セラレテ居リマシテ、兩者ノ完全ナル交通ト云フモノハ是ガ爲ニ到底望ムコトガ出来ナイヤウナ狀態ガアルノデアリマス、一例ヲ申上ゲテ見マシテモ、内務大臣ハ港灣ヲ築造スル、所ガ之ニ必要ナル所ノ臨港鐵道ハ港灣ノ完成ト同時ニ竣功シナイ、或ハ鐵道省ハ停車場ヲ築造致シマシテモ、是ガ後方ト連絡スル道路施設ガ遲レテ居ルト云フ

見テ参リマスト最モ甚ダシイ、港灣ノ物的設備ハ、所謂港灣行政ノ一部ト致シマシテ内務大臣ガ管掌スル、所ガ其港灣ニ於ケル所ノ税關關係ニ於キマシテハ、大藏省ガ之ヲ管掌シテ居ル、又港内ノ設備、所謂航路標識等ニ關シマシテハ遞信省ガ之ヲ經營シテ居ル、又港灣ニ於ケル所ノ鐵道棧橋ト云フモノハ、誰ガヤツテ居ルカト申シマスト、物的施設ヲヤル所ノ内務大臣ガヤラズシテ、鐵道大臣ガ管掌シテ居リマス、特定物資ノ輸出入、即チ各種ノ特產ノ検査ト云フヤウナ仕事ハ、農林大臣ト商工大臣ガ管掌サレテ居ル、斯様ナ狀況デアリマス、一港灣ノ施設ニ於テモ今申述ベルナウナ狀態デ、交通機關相互ノ連絡ドコロデハナイ、各、ガ分立シテ一港灣ノ作用ヲ成シテ居ルト云フヤウナ現狀デアリマシテ、吾々ガ交通機關ノ改善ヲ要求スル所ト相距ルコトガ甚ダシイノデアリマス、デアリマスカラ從來カラ交通機關ノ統制、或ハ交通行政ノ統一ヲ期サナケレバナラヌト云フ要求ハ、朝野ヲ擧ゲテアッタノデアリマシテ、或ル時ノ内閣ニ於キマシテハ、内閣ニ交通審議會マデ設ケテ、此不備缺陷ヲ補充セントシタ時モアッタノデアリマス、併シソレハ成立セズ

シテ、唯内閣ノ新政策トシテ宣傳セラレタ
ノミデアッタノデアリマスガ、斯様ナ状況デ
アリマスカラ、各省ニ分離シテ居ル所ノ交
通行政ヲ統一スルト云フコトハ、如何ナル
見地カラ見マシテモ必要デアラウト存ズル
ノデアリマス、最近ノ事例トシテ聞キマス
ルト、満洲ト本邦トノ連絡ヲ完全ナラシメ
シガ爲ニ、羅津カラ日本海沿岸ニ於ケル或
ル港湾ト連絡ヲ圖ラナケレバナラヌ、ソレ
ガ一番必要デアルト云フヤウナコトガ要求
セラレタノデアリマスガ、港灣ヲ管理シ、
港灣ノ後方ニ居ル所ノ鐵道ヲ管理スル役所
ガ異ナルガ爲ニ、是等ノ問題モマダ解決セ
ズニ置イテアル、斯様ナコトカラ考ヘテ見
マスルト、日滿ノ交通ガ是デ十分デアルト
ハドウシテモ言ヘナイト私共考ヘルノデア
リマス、此間大臣ノ御答辯ハ、相當考慮ヲ
シテ居ルト云フ御話デアリマシタガ、今ハ
考慮ヲスル時デハナイト私共ハ考ヘテ居ル、
革新政策ヲ實現セラレントシテ居ル所ノ現
内閣ニ於キマシテハ、交通省ヲ設置セラレ
サウンテ交通行政ト云フモノヲ國家的見地
カラ統制シ、統一スルト云フ御意見ガアル
カドウカ、是ハ非常ニ大キナ問題デアリマ

スルカラ、或ハ考慮中デアルト云フヤウナ
御返事ガ再ビアルカモ知レマセヌガ、私ハ
是非共此交通行政ヲ統一スル爲ニ、交通省ヲ
新設セラレル其決意ヲ承リタイト存ズルノ
デアリマス、併ナガラ是ハ只今大臣ニ御願
シマシタ所ガ、御即答下サルヤウナ輕微ナ
問題デハナイト心得テ居リマス、セメテ私
ハ此際ニ、道路ト鐵道トノ關係ニ於テ、兩
者ノ關係ガ圓滿ニ行ケルヤウニ、兩者ノ行
政ヲ統一セラレル御考ハアルノデアルカド
ウカト云フコトヲ、先づ以テ御伺シタイノ
デアリマス

○中島國務大臣 交通行政統一ト云フ見地

カラ交通省設置ト云フ議論ハ、御説ノ如ク
種々ノ方面、種々ノ時ニ、盛ニナッタリ、又
考慮的ニナッタリ致シテ居ルヤウナ次第デ
アリマス、交通行政ヲ一切統一スル意味ニ
於テ交通省ガ出來レバ、必ズ宜カラウト云
フ御話デアリマシタガ、其通リデアリマス
尙ホ陸上交通道路交通トノコトヲモウ
少シ統一シタラドウカト云フ御意見デアリ
マシタ、是モ洵ニ御尤ノ御説デアリマスガ、是ハ
ヤハリ諸般ノコトニ關係ガアリマスノデ、直
チニスウシタラト云フ名案モ今立ッテ居ラ
ナイ次第デアリマス、是等ノ點ニ付テモ十分
ニ關係各省ト共ニ考究シテ行ク考デ居リマス
○田中委員 御趣旨ノアル所ハ能ク分リマ
シタ、成程交通省ヲ設ケテ有ユル交通行
政ヲ統一スルト云フコトモ、是ハ餘リ大
キナ省ニナリマシテ不可能カト思ヒマス
ルガ、鬼ニ角何等カノ方法ニ依リマシテ、
入ラナイヤウニ相成ルト思フノデアリマス

展ノ爲ニ宜イノデアルカト云フコトハ、今
日相當考慮スベキ問題デアラウト考ヘルノ
デアリマス、色々ノ考ヲ持ツ人モアリマス
ケレドモ、マダ交通省ノ實現ハ其曙光ガ見
エテ居ラヌト云フ有様デアリマシテ、此點
ハ色々ノ事情、利害關係等ヲ慎重ニ考慮シ
テ決スベキ重大ナル問題デアルト考ヘテ居
ルノデアリマス、只今田中君ノ御説ノ通り、
現在政府ニ於キマシテモ、交通省設置ニ關
シテソレナラドウスルカト云フ具體的意見
ヲ表示スル程度ニ至ッテ居ラヌノデアリマ
ス、隨テ直チニハ答ヘラレナイグラウト云
フ御話デアリマシタガ、其通リデアリマス
尙ホ陸上交通道路交通トノコトヲモウ
少シ統一シタラドウカト云フ御意見デアリ
マシタ、是モ洵ニ御尤ノ御説デアリマスガ、是ハ
ヤハリ諸般ノコトニ關係ガアリマスノデ、直
チニスウシタラト云フ名案モ今立ッテ居ラ
ナイ次第デアリマス、是等ノ點ニ付テモ十分
ニ關係各省ト共ニ考究シテ行ク考デ居リマス
○田中委員 御趣旨ノアル所ハ能ク分リマ
シタ、成程交通省ヲ設ケテ有ユル交通行
政ヲ統一スルト云フコトモ、是ハ餘リ大
キナ省ニナリマシテ不可能カト思ヒマス
ルガ、鬼ニ角何等カノ方法ニ依リマシテ、
入ラナイヤウニ相成ルト思フノデアリマス

省ノ長官ヲ押ヘ付ケルヤウナ權限ノアル交
通調整審議會ト申シマスルカ、ソレ等ノ機
關ヲ設ケラレルナラバ、私ハ是ハ必シモ難
カシイ問題デハナイ、一省ニ統一スルコト
ニ於テ困難ガ伴フモノデアラウト思ヒマス
ケレドモ、各省ヲ押ヘ付ケルト云フコトニ
依ッテ、行政ノ統一ヲ圖ルコトモツノ方
法デアラウト思ヒマス、ドウカ私共ガ常ニ
希望シテ居リマス交通行政ノ統一ニ付キマ
シテ、尙ホ一段ノ御考慮ヲ煩ハシタイト云
フコトニシテ、私ハ次ノ質問ニ移リタイト
思フノデアリマス

今回調整セラルベキ所ノ交通事業ヘ、第一
條ニ規定シテアル通リデアリマス、ソコデ
何故ニ省營ノ鐵道ヲ此調整ノ目的ノ範圍内
ニ入レナインデアルカト云フ此間ノ質問ニ
對シマシテハ、地方的ノ交通ヲ掌ルモノニ
付テハ、調整ノ範圍内ニ入レルヤウニ考へ
テ居ルト云フ御話デアリマシタ、所ガ御承
知ノヤウニ國有鐵道法ハ地方的ノ交通ヲ目
的トシテ居ル所ノ鐵道デヘアリマセヌ、隨
ヒマシテ大臣ガ先般本會議議デ御答辯ニナリ
マシタ如ク、本法ニ依ッテ調整セラルベキ範
圍ハ、一地方ノ交通ノ用ニ供セラレテ居ルモ
ノ、斯様ニ解シマスルト、殆ド國有鐵道ハ
カラ統制シ、統一スルト云フ御意見ガアル
カドウカ、是ハ非常ニ大キナ問題デアリマス

ルガ、果シテ國有鐵道へオ入レニナラナイノデアルカ、オ入レニナル意思ガアルトシテモ、法律上入レルコトガ出來ナイノデハナカラウ。カト思フノデアリマスガ、此點如何デセウカ、ソレト又一ツハ、國有鐵道ヲ此中ニオ入レニナルコトニ、何カ國有鐵道法トノ關係上支障ガアルト云ヤフウナ御見解デアリマセウカ、御意見ヲ御伺シタイノデアリマス、何故斯様ナコトヲ言フカト申シマスルト、私ハ東京市ノ交通機關ノ有様ヲ見マシテ、ドウシテモ國有鐵道ノ一部分ヲ此統制ノ範圍内ニ入レナケレバ、折角此法律ノ目的トシテ居ル所ノ事柄ガ果シ得ナイ、斯様ニ存ズルカシテ調整セナケレバナラヌト云フコトハ、是ハモウ十數年前カラノ斯界ノ問題デアリマシテ、今ニ是ガ解決ヲシテ居ナイノデアリマスルガ、東京ノ交通機關ノ調整上最モ邪魔フシテ居ル所ノモノハ、鐵道省ノ山手線ノ鐵道デアル、此頑張ッテ居ル山手線鐵道ヲ何トカシテ統制ノ範圍ニ入レナケレバ、東京市ノ交通機關ノ調整ハ到底出來得ナイ、是ハ皆ガ口ヲ揃ヘテ言フ所デアツ、何人モ異論ガナイ所デアラウト思フノデアリマス、斯様ノモノヲ此法案ガ捨テ置クコトニ致シマシタナラバ、是ハドウシテモ東

京市ノ交通調整ハ出來得ナイ、斯様ニ私ハ考ヘマスルノデ、何故ニ此國有鐵道ヲ法律ノ範圍内ニオ入レニナラナイカ、其理由ヲ詳シク承リタイト存ズルノデアリマス、實業ハ濫立シ、統一連絡ヲ缺イテ居ル斯ウ申スト是ハ非常ニ失禮ナル言葉デアツ、或ハ御咎メラ受ケルカモ分リマセヌガ、今回ノヤウナ調整ヲ必要トスルニ至リマシタノハ是等ノ事業ヲ設定セラレル所ノ鐵道省ノ從來ノヤリ方ガ、私ハ餘り粗雑ニ取扱ハレタ結果、今日ノ如キ濫立狀態ヲ見ルニ至ッタノデハナカラウカト云フ疑念ヲ持ツノデアリマス、各種ノ交通機關ハ御承知ノ如ク其性質ト、交通能率、交通需要等ニ於キマシテ其必要ノアル所ハ、調整委員會ノ意居ルノデアリマス、隨テ各地方々々ニ於キマシテ其必要ノアル所ハ、調整委員會ノ意ヲ以テ之ニ參加スルト云フ決心ヲ有ッテ見ヲ徵シテ調整ノ方法ヲ、調整ガ出來ナイ場合ニハ裁定ノ範圍ヲ決スルノデアリマスケレドモ、勿論其中ニ國有鐵道ハ入ッテ行クノデアリマスカラ、是ハ誤解ノナイヤウニ御諒承願ヒタイト思ヒマス

○田中委員 法律ニ御入レニナラズシテ當然入ッテ來ルト仰シヤレバ、行政ノ手段デ御入レニナルコトト存ジマスルガ、私第二點トシテ承リマシタ東京市ノ交通機關調整ノ爲モ一地方ニ於ケル錯雜シテ居ル交通機關ヲ統制スルノガ本當ノ目的デアルト云フコトニ相成リマスレバ、東京、大阪等ニ於キマスルベキ會社ニ移サレルト云フヤウナ御考ガアルカナイカト云フ點ヲ伺ヒタイトノデアリ

ルガ、果シテ國有鐵道へオ入レニナラナイノデアルカ、オ入レニナル意思ガアルトシテモ、法律上入レルコトガ出來ナイノデハナカラウ。カト思フノデアリマスガ、此點如何デセウカ、ソレト又一ツハ、國有鐵道ヲ此中ニオ入レニナルコトニ、何カ國有鐵道法トノ關係上支障ガアルト云ヤフウナ御見解デアリマセウカ、御意見ヲ御伺シタイノデアリマス、何故斯様ナコトヲ言フカト申シマスルト、私ハ東京市ノ交通機關ノ有様ヲ見マシテ、ドウシテモ國有鐵道ノ一部分ヲ此統制ノ範圍内ニ入レナケレバ、折角此法律ノ目的トシテ居ル所ノ事柄ガ果シ得ナイ、斯様ニ存ズルカシテ調整セナケレバナラヌト云フコトハ、是ハモウ十數年前カラノ斯界ノ問題デアリマシテ、今ニ是ガ解決ヲシテ居ナイノデアリマスルガ、東京ノ交通機關ノ調整上最モ邪魔フシテ居ル所ノモノハ、鐵道省ノ山手線ノ鐵道デアル、此頑張ッテ居ル山手線鐵道ヲ何トカシテ統制ノ範圍ニ入レナケレバ、東京市ノ交通機關ノ調整ハ到底出來得ナイ、是ハ皆ガ口ヲ揃ヘテ言フ所デアツ、何人モ異論ガナイ所デアラウト思フノデアリマス、斯様ノモノヲ此法案ガ捨テ置クコトニ致シマシタナラバ、是ハドウシテモ東

京市ノ交通調整ハ出來得ナイ、斯様ニ私ハ考ヘマスルノデ、何故ニ此國有鐵道ヲ法律ノ範圍内ニオ入レニナラナイカ、其理由ヲ詳シク承リタイト存ズルノデアリマス、實業ハ濫立シ、統一連絡ヲ缺イテ居ル斯ウ申スト是ハ非常ニ失禮ナル言葉デアツ、或ハ御咎メラ受ケルカモ分リマセヌガ、今回ノヤウナ調整ヲ必要トスルニ至リマシタノハ是等ノ事業ヲ設定セラレル所ノ鐵道省ノ從來ノヤリ方ガ、私ハ餘り粗雑ニ取扱ハレタ結果、今日ノ如キ濫立狀態ヲ見ルニ至ッタノデハナカラウカト云フ疑念ヲ持ツノデアリマス、各種ノ交通機關ハ御承知ノ如ク其性質ト、交通能率、交通需要等ニ於キマシテ其必要ノアル所ハ、調整委員會ノ意居ルノデアリマス、隨テ各地方々々ニ於キマシテ其必要ノアル所ハ、調整委員會ノ意ヲ以テ之ニ參加スルト云フ決心ヲ有ッテ見ヲ徵シテ調整ノ方法ヲ、調整ガ出來ナイ場合ニハ裁定ノ範圍ヲ決スルノデアリマスケレドモ、勿論其中ニ國有鐵道ハ入ッテ行クノデアリマスカラ、是ハ誤解ノナイヤウニ御諒承願ヒタイト思ヒマス

○田中委員 法律ニ御入レニナラズシテ當然入ッテ來ルト仰シヤレバ、行政ノ手段デ御入レニナルコトト存ジマスルガ、私第二點トシテ承リマシタ東京市ノ交通機關調整ノ爲モ一地方ニ於ケル錯雜シテ居ル交通機關ヲ統制スルノガ本當ノ目的デアルト云フコトニ相成リマスレバ、東京、大阪等ニ於キマスルベキ會社ニ移サレルト云フヤウナ御考ガアルカナイカト云フ點ヲ伺ヒタイトノデアリ

タ通り、東京地方ノ交通事業調整ノコトガ議ニ上ル場合ニハ、其地域ニアル國有鐵道ノ持ツテ居ルモノモ、山手線ニ限ラズ、調整委員會ノ議ヲ經テ之ニ參加シテ行クト云フ考デ居ルノデアリマス

マス

○中島國務大臣 ヤハリ只今私カラ申上げ

マス

タ通り、東京地方ノ交通事業調整ノコトガ議ニ上ル場合ニハ、其地域ニアル國有鐵道ノ持ツテ居ルモノモ、山手線ニ限ラズ、調整委員會ノ議ヲ經テ之ニ參加シテ行クト云フ考デ居ルノデアリマス

マス

マス

ハ考ヘルノデアリマス、是等ノ交通ハ或ハ
微々タル效果シカ擧ゲテ居ナイ地方モアリ
マセウケレドモ、ヤハリ此水上交通ノ固有
ノ價值ト云フモノハ輕視スルコトハ出來マ
セヌ、賃銀ガ低廉デアルトカ、或ハ大量輸
送ガ出來ルト云フヤウナ、陸運ニ比シマシ
テ非常ナ特質ヲ有ッテ居リマスカラ、之ヲ閑
却スルコトハ出來マセヌ、ドウ致シマシテ
モ一地域内ニ於ケル水路交通、其交通ヲ一
緒ニシテ統制シナケレバナラナイモノト考
ヘルノデアリマス、嘗テ小運送事業ノ場合
ニ於キマシテモ、私ハ其立法ニ參畫致シマ
シテ、當時私共ノ頭ハソコ迄ニ考ヘ及バナ
カッタモノデアリマスカラ、ツイ之ヲ忘レテ
居タノデアリマシタガ、東京、大阪ニ於キ
マスル此水路交通ト云フモノハ非常ニ重要
デアル、サウシテソレ等ノ交通ヲ取締ラナ
ケレバ、如何ニ陸上交通ヲ御取締ニナリマ
シテモ其方ニ皆逃レテ行クト云フノガ、現
在ニ於ケル小運送取締ノ現状デアルヤウニ
聞イテ居リマス、此點何故ニ除外セラレタ
ノデアリマスカ

○星島委員長

一寸申上ゲマス、間モナク

本會議ノ採決ニ入ルサウデアリマスカラ
時休憩致シマシテ、採決ヲ終ッテカラ又質問
ヲ續行致シタイト思ヒマス、一時休憩致シ

マセウケレドモ、ヤハリ此水上交通ノ固有
ノ價值ト云フモノハ輕視スルコトハ出來マ
セヌ、賃銀ガ低廉デアルトカ、或ハ大量輸
送ガ出來ルト云フヤウナ、陸運ニ比シマシ
テ非常ナ特質ヲ有ッテ居リマスカラ、之ヲ閑
却スルコトハ出來マセヌ、ドウ致シマシテ
モ一地域内ニ於ケル水路交通、其交通ヲ一
緒ニシテ統制シナケレバナラナイモノト考
ヘルノデアリマス、嘗テ小運送事業ノ場合
ニ於キマシテモ、私ハ其立法ニ參畫致シマ
シテ、當時私共ノ頭ハソコ迄ニ考ヘ及バナ
カッタモノデアリマスカラ、ツイ之ヲ忘レテ
居タノデアリマシタガ、東京、大阪ニ於キ
マスル此水路交通ト云フモノハ非常ニ重要
デアル、サウシテソレ等ノ交通ヲ取締ラナ
ケレバ、如何ニ陸上交通ヲ御取締ニナリマ
シテモ其方ニ皆逃レテ行クト云フノガ、現
在ニ於ケル小運送取締ノ現状デアルヤウニ
聞イテ居リマス、此點何故ニ除外セラレタ
ノデアリマスカ

○田中委員

御答辯ハ拜承致シマシタガ、
先程モ申述べマシタ通りニ、小運送業法ノ

ス
末ニ付テ見テ見マスト、十四億三千万人ノ乗
ラレテ居ル、ソレデアリマスカラ、非常ニ

マス

午後二時二十七分休憩

マセウケレドモ、ヤハリ此水上交通ノ固有
ノ價值ト云フモノハ輕視スルコトハ出來マ
セヌ、賃銀ガ低廉デアルトカ、或ハ大量輸
送ガ出來ルト云フヤウナ、陸運ニ比シマシ
テ非常ナ特質ヲ有ッテ居リマスカラ、之ヲ閑
却スルコトハ出來マセヌ、ドウ致シマシテ
モ一地域内ニ於ケル水路交通、其交通ヲ一
緒ニシテ統制シナケレバナラナイモノト考
ヘルノデアリマス、嘗テ小運送事業ノ場合
ニ於キマシテモ、私ハ其立法ニ參畫致シマ
シテ、當時私共ノ頭ハソコ迄ニ考ヘ及バナ
カッタモノデアリマスカラ、ツイ之ヲ忘レテ
居タノデアリマシタガ、東京、大阪ニ於キ
マスル此水路交通ト云フモノハ非常ニ重要
デアル、サウシテソレ等ノ交通ヲ取締ラナ
ケレバ、如何ニ陸上交通ヲ御取締ニナリマ
シテモ其方ニ皆逃レテ行クト云フノガ、現
在ニ於ケル小運送取締ノ現状デアルヤウニ
聞イテ居リマス、此點何故ニ除外セラレタ
ノデアリマスカ

マス

○星島委員長 休憩前ニ引續イテ會議ヲ開

キマス——田中君ノ御質問ニ對シテマダ御
答辯ガアリマセヌカラ、政府ノ御答辯ヲ求
メマス

○中島國務大臣 先刻田中君ノ御質問ハ、
水上ノ交通モ此調整法ニ入レタラドウカト
云フコトデアリマシタガ、此調整法ノ主眼
トスル所ハ、地方鐵道、軌道、自動車等ノ
激烈ナル并立競争カラ、業者モ一般公衆モ
非常ナル弊害ヲ感知シテ、其調整ノ急速ナ
ルヲ希望シツ、アルト云フヤウナ觀點カ
ラ、先づソレダケノコトヲ調整シタイト云
フ所ニ出發シテ居ルノデアリマス、勿論田
中君ノ申サル、通り、水上ノ交通ニ關シテ
モ其必要ハアラウト思ヒマスルケレドモ、マ
ダ精細ナル調査モ出來テ居リマセヌシ、是
ハ將來ノコトニ讓ッテ宜カラウト考ヘマシ
テ、此調整法ニハ入レナカッタ次第デアリマ
ス

○田中委員 御答辯ハ拜承致シマシタガ、
先程モ申述べマシタ通りニ、小運送業法ノ

ス
スル「タクシー」ノ狀況ヲ見マシテモ、交
通界ニ於ケル其地位ト云フモノハ中々重要
ナルモノデアラウト考ヘマス、ソレハ現在
東京市内ニ於キマス所ノ市電、鐵道省ノ電
車、地下鐵、私營電鐵、「バス」「タクシー」
等ノ陸上交通ノ有ユル交通量ヲ、十一年度
末ニ付テ見テ見マスト、十四億三千万人ノ乗
ラレテ居ル、ソレデアリマスカラ、非常ニ

陸運ノ方デ取締ヲ受ケル者ガ、水上ノ小運
送業者ノ方ヲ怨ンデ居ルト云フヤウナ狀態
デアリマス、對立狀態ノモノハナイト仰シ
ヤイマシタガ、現在對立狀態ニ在ル、ソレ
ハ小運送業ノ範圍ヲ限定セラレタ結果デア
ラウト思フノデアリマス、ドウカサウ云フ
コトハ御調べニナツテ居ナイト云フ御話デ
アリマスカラ、御調べ下サイマシテ、「其ノ
他勅令ヲ以テ指定スル事業」ノ中ニデモ御入
レ下サレバ結構ト存ジマス

次ニ御伺ヒ致シタインハ、ヤハリ第一條
ノ問題デアリマスガ、此交通事業ノ中ニ「タ
クシー」ノ事業ヲ御入レニナラナカッタノハ
ドウ云フ譯デアルカト云フコトヲ伺ヒタイ
ノデアリマス、申スマデモナク「タクシー」
ハ近時ノ交通機關ト致シマシテ、缺クベカ
ラザル地位ヲ持ツテ居ルノデアリマス、是ハ
私ノ短見デアリマスガ、東京市内ニ於キマ
スル「タクシー」ノ狀況ヲ見マシテモ、交
通界ニ於ケル其地位ト云フモノハ中々重要
ナルモノデアラウト考ヘマス、ソレハ現在
東京市内ニ於キマス所ノ市電、鐵道省ノ電
車、地下鐵、私營電鐵、「バス」「タクシー」
等ノ陸上交通ノ有ユル交通量ヲ、十一年度
末ニ付テ見テ見マスト、十四億三千万人ノ乗
ラレテ居ル、ソレデアリマスカラ、非常ニ

千萬人ト云フ夥シイ乗客ヲ取扱ツテ居リマ
ス中デ、「タクシー」ノ取扱ヒマシタ乗客ガ
二億八百万人、詰リ總交通量ノ一割四分ガ、
ヤイマシタガ、現在對立狀態ニ在ル、ソレ
ハ小運送業ノ範圍ヲ限定セラレタ結果デア
ラウト思フノデアリマス、又其收入ニ付テ見マ
シテモ、有ユル陸上交通機關綜合收入額ハ
一億四千万圓ト承ツテ居リマスルガ、其中ノ
五千九百万圓ハ、所謂「タクシー」ノ收入ニ
屬シテ居ルト云フコトヲ、最近東京市ノ電
氣局ノ調査課ガ發表シテ居リマス、斯様ニ
交通上ニ於テ澤山ノ乗客ヲ扱ヒ、而モ鐵道
軌道等ノ收入ニ比シテ約三分ノ一程ヲ占メ
テ居ル所ノ此「タクシー」ト云フモノハ、現
在ノ路上交通カラ致シマシテ、亦中々閑却
スルコトガ出來得ナイ一ツノ交通事業デア
リマス、是アリマスルガ爲ニ、既存ノ鐵道
軌道ト云フモノガ非常ニ惱マサレテ居ル、
ソレハ顯著ナル事實デアリマシテ、サウシ
テ鐵道、軌道ヲ經營スル者ハ、何トカシテ
之ヲ抑制スルカ、或ハ調整セナケレバナラ
ヌト云フコトヲ常ニ主張シテ居ル程ノ重要
ナル問題デアリマスルガ、之ヲ今回ノ調整
法ノ外ニ御置キニナリマシタコトハドウ云
フ譯デアリマスカラ、又今ノ所ハ考ヘテ居ナ
イト言ハレルヤウナコトガアリマシテハ、
折角御計畫ニナリマシタ本事業モ、遂ニ其

目的ヲ實現スルコトガ出來得ナイト私ハ感
ズルノデアリマシガ、之ヲ普通ノ吾々ノ生
活カラ見マスルト、安イ賃金デ交通ガ出來
レバ是ハ最モ結構デアリマス、吾々ハ常ニ
荻窪邊カラ新宿ノ方面ニ通ヒマスルガ、五
人乗ツテ五十錢デ行ケル、若シ鐵道省ノ電車
ニ乗リマスト一圓近クノ賃金ヲ拂ハナケ
レバナラヌ、ソレデ斯様ナ風來見タイナ
「タクシー」ガ居ルト云フコトハ、吾々ノ生活
カラ見マシテハ結構デアリマスガ、一方既
存ノ事業者ノ見地カラモ、或ハ又自動車ノ
業態ガ國策ノ上カラ見マシテモ今ノ所デハ
イケナイ、行詰ッテ居ルト云フ點カラ見マシ
テモ、何等カノ方法ニ依ツテ調整ヲセナケ
レバナラヌト存ジマスルガ、之ニ對スル御
意見フ拜承シタインデアリマス

○中島國務大臣 「タクシー」ニ關シマシテ
ハ、御說ノ通り十分考慮致シテ居ルノデア
リマシテ、第一條ノ「其ノ他勅令ヲ以テ指
定スル事業」ト云フ中ニ「タクシー」等モ入レ
テ考ヘテ居ルノデアリマス、唯「タクシー」
ハ現在ノ所其大部分ガ個人營業ニ屬シテ居
ルノデアリマシテ、實際ノ事情ハ、軌道或
ハ自動車運輸事業トハ多少事情ガ異ルノデ
アリマシテ、是等ニ關シマシテハ尙ホ調整
委員會等ノ意見モ慎重ニ拜承シタ上ニ於

○增永委員 一寸私之ニ關聯シテ……

○星島委員長 簡單ナラバ御許シ致シマス

○増永委員 簡單デス——只今田中君カラ
ノ御質疑ノ中ノ前ノ點ニ關聯シテ、一寸御
尋申上ガタイ點ガアリマス、此度ノ調整法
ハ主トシテ陸運ニ關係ノモノダケノヤウニ
最前カラ御答辯ガアリマシタ、サウシテ水
運ノ關係ノ事モ、今後ハ相當考慮スルト云
フ大臣ノ御答辯デアリマシタ、是ハ能ク承
知致シマシタ、最前田中君カラモ御話ガア
リマシタ通リニ、將來國內ニ於ケル本當ノ
交通ノ統制ト云フコトハ、ヤハリ水運ト云フ
コトヲ別ニシテハ到底完全ナ調整ガ行ハレナ
イダラウト私共モ考ヘルノデアリマス、殊ニ
先年非常ナ問題ニナリマシタヤウニ、滿洲ト
日本トノ色々ノ交通連絡ニ付キマシテ、羅津
港ノ建設ニ伴ツテ、羅津港ト北日本トノ間ニ
ドウ云フ地點ヲ選シダラ宜イカト云フコト
ニ對シテ、非常ナ問題ガ起リマシタ、ソレハ
其圓周上ノ大體同ジ距離ノ間ニ北日本ノ新
潟、或ハ伏木デアルトカ、敦賀デアルトカ、
同ジヤウナ距離ニアル、サウ云フ風ナ點カ

水峠ノアノ「トンネル」ニ依リマシテ、主ト
シテ新潟方面ガ非常ニ近イ、或ハ大阪、名
古屋方面ニ對シテ、北日本ニ於ケル港灣
トシテハ是ガ適當ナリト考ヘテ居ルガ、其
ヤウナコトダケデ、大體ノ人ハ敦賀トカ或
ハ新潟方面ニ對シテ、北日本ニ於ケル港灣
カト云フ方面ニモ、相當地方的ニ羅津トノ
連絡ニ對シテ色々猛烈チ港灣ノ築港ノ申請モ
アルシ、又縣トシテモ、縣單位ノ見地カラ相
當ニソレダケノ設備ヲスルヤウナコトガアッ
タカノヤウニ私ハ承ツテ居リマス、尙ホ將來
ニ於ケル交通ノ中心トシテハ、ヤハリ陸ト海
ト空トノ此三ツノ關係ガ具備シテ居ルコト
ガ、最モ望マシイコトデアラウト思フノデ
アリマス、サウ云フ點カラ假ニ只今ノ下關
門司間ノ所謂關門ノ如キ、此處ハ鐵道ト海
トノ關係ガアリマシテモ空トノ關係ガナイ、
或ハ中支、臺灣方面ニ於キマシテ、只今ノ
飛行機ノ中心ハ福岡デアル、所ガ此福岡ハ
陸ト空トノ關係ガアリマシテモ、海ノ關係
ガナイト云フヤウナ事カラシテ、關門海峡
ト云フモノガ今後ニ於ケル船舶ノ增加竝ニ
アノ海流ノ關係カラ、將來福岡ガ港灣ノ方

テ、其調整ニ入レベキ時期等ヲ考ヘタイ、
斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス

○星島委員長 簡單ナラバ御許シ致シマス

○増永委員 一寸私之ニ關聯シテ……

○中島國務大臣 簡單ナラバ御許シ致シマス

○中島國務大臣 此調整法ハ、唯日本ニ於
ケル地方鐵道、軌道事業、自動車業等ノ、
現在二重或ハ何重ト云フヤウナ投資設施ニ
依ツテ競爭ヲ致シテ居ルノヲ統制シヨウト云
フノデアリマスケレドモ、増永君ノ御說ノ
通り、ヤハリ將來ハ航空或ハ水運等ノ方面

ニモ、斯ウ云フ調整ガ必要デアリ、又其調整サレタル空輸、水運、陸運等ガ又統制サレ必要ノアルコトハ、私モ感ジテ居ルノデアリマス、併シ此事ハソレ等ト離レテモ必要ナモノデアル、又是等ガ行ハレテ居ルコトガ、將來海空ノ關係ヲ統制スルト云フ上ニモ、寧ロヨリ以上良クナルモノデアラウト考ヘルノデアリマス、獨立ニシテ行ッテ一向差支ナク、或ハ直チニヤリ得ルモノカラヤッテ行クベキデアルト考ヘテ居ルノデアリマス、サウ云フヤウナ者デアリマスカラ、將來ノ海陸空等ノ連絡統制等ニ付キマシテハ、之ヲ決シテ、蔑ロニシテ居ル譯デハナイノデアリマス、隨テ只今御説ノ交通審議會等ノ御意見ニ對シテハ承ツテ置キマシテ、篤ト考慮致シタイト思ヒマス

通統制ヲ圖リツ、アルノデアリマスガ、時々省營「バス」ガ進出シテ參リマシテ、地方デ交通ノ摩擦ヲ生ジテ問題トナッテ居リマスノハ、省營「バス」ト民營「バス」トノ摩擦ガ多イト思ヒマス、特ニ東京市ナドニ於キマシテ、交通ガ非常ニ亂雜ナル狀態ニ陥タ、之ヲ統制スルト云フヤウナコトガ、此法案トシテハ第一ニ考へナケレバナラヌ問題ダラウト思ヒマス、此場合ニ山ノ手線等ヲ入レナケレバ、到底其實ヲ擧ゲ得ナイノデアリマス、其際ニ於キマシテ、之モ入レル積リデアルト云フコトヲ御言明ニナッタコトハ洵ニ結構ト思ヒマスガ、何トカ御言明ノ趣旨ヲ法文ニ表ハシテ、法文化シテ、其趣旨ヲ徹底セシムルヤウニ迄シテ戴クコトガ出來ナイデアリマセウカ、其點ヲ一寸御伺致シタikt思ヒマス

カラ、法文ニハ書カナカタノデスガ、併シ
只今ノ御説ノ通り、國有鐵道ヲ除イテハ中々
ト何ダカ、ヲカシイデスガ、鐵道大臣ガ主
務大臣トシテ此法律ニ依テ調整セントス
ル以上ハ、當然進シテ參加スルコトニナリ
マス、法文ニ有ルト無イトニ拘ラズ、其事
ニ付テハ決シテ御疑ノ餘地ハナイノデアリ
マスカラ、何卒御諒承願ヒタイト思ヒマス
○堀内委員 洗ニハキリシタ御 言明ヲ戴
キマシテ感謝致スノデアリマス、是ハ本案
ニ直チニ關係ノアル問題デアリマセヌガ、
私ハ昨年モ大臣ニ申上ゲタコトガアッタノ
デアリマスガ、成程今ノ御話ノヤウニ、大
臣ハ御自分で御自分で命令スルト云フヤウ
ナコトモ變ナモノデアル、ソレハ御尤デアリ
リマス、ソレノミナラズ、今日ノ鐵道省ノ
官制ト致シマシテハ、監督局ト運輸局ガ大
臣ノ左右ノ手ニナツテ居ル、一方ハ監督ヲス
ル監督行政デアルガ、一方ハ商賣——運輸
局ハ商賣ト考ヘテモ差支ナイ、ソコデ往々
ニシテ其爲ニ既設鐵道ト監督權ナドノ摩擦
ヲ生ズルヤウナコトガアルノデアリマス、
ソレデ運輸局ト云フモノヲ省外ノ外局トシ
テ、ツノ運輸局長官デモ御作リニナツテ、

ヤハリ他ノ交通機關同様ニ御監督ニナルト
云フヤウナ方法デモ執リマシタラバ、只
今ノヤウナ摩擦ヲ生ズルコトモナカラウト
思ヒマスガ、併シ此法案ヲ實行致シマスニ
付キマシテハ、只今ノ大臣ノ言明デ結構デ
アリマスガ、行クハス様ナ風ニシテ總
テノ摩擦ヲ除クト云フ御考ハナイノデアリ
マセウカ、一寸之ヲ御伺致シテ置キマス
○中島國務大臣 御意見ノ所ハ能ク拜聽致
シテ置キマシテ、何レ慎重ニ考慮致シタイ
ト考ヘマス

○堀内委員 此法案ヲ實行致シマス上ニ於
テ、例ヘバ東京市ノ交通統制ヲ圖ル上カラ
見マシテモ、假ニ此法案ニ依ッテノ合併、讓渡
共同經營ト云フヤウナコトハ出來ルモノト
致シマシテモ、此經營上ノ方針ヲ何レニ置
クカ、私設會社同士デ合併スルトカ、經營
所ヲ一緒ニスルト云フコトハ、公營ト民營
ト云フコトニ相當議論ガアルゾデハナイカ
ト思ヒマス、東京市ノ交通ガ斯ノ如ク亂レ、
市電ガ年々莫大ナル缺損ヲスルト云フヤウ
ナ歴史ヲ辿リテ見マスルト、國有鐵道ノ進出
モアリマス、民營自動車ノ發展モアリマセ
ウガ、ドウモ只今ノ東京市ノ電氣局ノ公營
組織ガイカナイノデハナイカ、ドウモ擔當
者ガ始終變ツテ居ルシ、民營ノ如ク眞面目ニ

ヤツテ居ナイヤウナ考ガ多々致スノデアリ
マスガ、今後是ガ何レニ合併サレルニシマシ
タ所ガ、假ニ東京市内ノ民營「バス」ト一緒ニス
ル、國有鐵道モ一緒ニナルト云フヤウナ、
場合ニハ、資本金等ニ於テハ、ドウ云フ關
係ニナルカ、隨分國有鐵道ノ資本ガ多クナ
ルノデアリマセウガ、民營事業ト民營「バ
ス」ト東京市電ト云フヤウナモノガ一緒
ニナッタ場合ニハ、市電ノ資本金ハ非常ニ
多いノデアリマスカラ、ヤハリ私設事業ハ
其中ノ一部ニ入ッテ、經營ハ今マデ通リノ公
營組織デ、今マデノヤウナ形式ヲシテ居ル
デアラウ、今マデノヤウナヤリ方デアレバ、
資本金ガ殖エテモ、事業ガ殖エテモ、ドウ
モ東京市ノ交通行政ヲシテ完備ナラシムル
コトハ出來ナイノデアルカラ、是ハ法文ニ
書ク譯ニハ行カナイカモ知レマセヌガ、將
來此法案ガ實行サレテ東京市ノ交通統制ガ
出來マスル曉ニハ、公營ニスルノガ宜イカ、
民營ニスルノガ宜イカ、或ハ公有民營、何
カソコニ大臣ノ御見込ニ依ッテ、斯ウ云フ方
法ニシタナラバ將來此亂雜ナル交通統制ヲ
此法案ニ依ッテ調整シ得ルデハナイカト云
フヤウナ成案ガアリマスレバ、只今承リタ
イト思ヒマス

○中島國務大臣 只今確定的ノ方針ハ持ツ

本趣旨ガ、出來ルダケ諸般ノ事情ニ即應シ
タ所ガ、假ニ東京市内ノ民營「バス」ト一緒ニス
ル、國有鐵道モ一緒ニナルト云フヤウナ、
場合ニハ、資本金等ニ於テハ、ドウ云フ關
係ニナルカ、隨分國有鐵道ノ資本ガ多クナ
ルノデアリマセウガ、民營事業ト民營「バ
ス」ト東京市電ト云フヤウナモノガ一緒
ニナッタ場合ニハ、市電ノ資本金ハ非常ニ
多いノデアリマスカラ、ヤハリ私設事業ハ
其中ノ一部ニ入ッテ、經營ハ今マデ通リノ公
營組織デ、今マデノヤウナ形式ヲシテ居ル
デアラウ、今マデノヤウナヤリ方デアレバ、
資本金ガ殖エテモ、事業ガ殖エテモ、ドウ
モ東京市ノ交通行政ヲシテ完備ナラシムル
コトハ出來ナイノデアルカラ、是ハ法文ニ
書ク譯ニハ行カナイカモ知レマセヌガ、將
來此法案ガ實行サレテ東京市ノ交通統制ガ
出來マスル曉ニハ、公營ニスルノガ宜イカ、
民營ニスルノガ宜イカ、或ハ公有民營、何
カソコニ大臣ノ御見込ニ依ッテ、斯ウ云フ方
法ニシタナラバ將來此亂雜ナル交通統制ヲ
此法案ニ依ッテ調整シ得ルデハナイカト云
フヤウナ成案ガアリマスレバ、只今承リタ
イト思ヒマス

テ居ラヌノデアリマス、ヤハリ此法案ノ根
本趣旨ガ、出來ルダケ諸般ノ事情ニ即應シ
テ自治的ニ調整セシムル、サウシテ自治的ニ
行ハレナイ場合ニ限ッテ、已ムヲ得ザル場合
ニ主務大臣ガ裁定命令ヲ出スト云フヤウナ
考ヘ方デ居リマスカラ、東京ニ限ラズ、其他
ノ所ニ於キマシテモ十分事情ヲ研究致シテ、
調整委員會ノ意見ヲ尊重シテ、成ベク諸設
ノ事情ニ適應シタヤウニ調整シテ行キタ
イ、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス

○堀内委員 第二條ノ第一號ノ「會社ノ合
併又ハ設立」ト云フコトハ勸告スル、其他
ノ事項ハ命令スルト云フコトニナッテ居リ
マスガ、ドウモ設立ハ無論命令ト云フ譯ニ
ハ参リマスマイト思ヒマスカラ、是ハ勸告デ
宜イカモ知レマセヌガ、既存會社ノ合併ト
云フコトハ、勸告デハドウモ私共ハイカヌ
ト思フ、監督官廳トシテ信ズル所ニ依ッテ命
令ヲ以テデモナサラヌケレバ出來ナイノデ
ハナイカ、二、三年前ニ、是ハ勸告デアッタ
カドウカ知リマセヌガ、三土鐵道大臣ノ時
ニ、郊外電車ヲ合併シタラ宜カラウト云フ
モ同ジ、株主系統モ同ジデアル、寧口合併
御話ガアツタノデアリマシテ、是ハ資本系統
ニハ色々ナ方法ガアリマスルケレドモ、私
シタ方ガ合理的デハナイカト云フヤウナコ
トデ、皆集シテ相當協議ヲ進メタヤウデアリ

マスガ、中々重役關係ナドガアツテ目的ヲ達
セナカツタヤウデアル、斯ウ云フヤウナモノ
ニ將來ノ交通需要ニ應ズルダケノ交通路線
又ソレガ交通統制ノ上ニ於テ良イト思ッタ
ラバ、ソコ迄行クコトガ宜カラウト私共ハ考
ヘテ居リマスガ、會社ノ合併ノミニ限ッテ勸
告ト云フコトニ御決メニナッタ點ハ、何カ特
別ノ事情デモアルノデアリマセウカ、之ヲ
進ンデ命令ノ條項ノ中ニ御入レニナルト云
フ御考ハナイデセウカ、其點ダケラ御伺致
シマス

○中島國務大臣 會社ノ合併又ハ設立ト云
フコトヲ勸告ト致シタノハ、是モヤハリ法
制上今日迄サウ云フ例ガゴザイマスシ、又
現行ノ法律ヲ以テシテハ種々ノ困難ガアル
ノデアリマシテ、勸告トスルコトヲ至當ナ
リト考ヘテ勸告ト致シタ譯デアリマス、理
由ハソレダケデアリマス

○田中委員 私ハ更ニ進ンデ調整方針ノコ
トニ付テ大臣ノ御考ヲ御伺シタイト存ズル
ノデアリマス、交通事業ヲ調整致シマスル爲
ニハ交通網ヲ整備スルト云フコトト、ソレカ
ラ交通機關ヲ統制スルト云フコトト、交通
企業ヲ統制スルコト、此三ツノ事ガ最モ必
要ナ要件デアラウト考ヘルノデアリマス、御

承知ノ如ク交通網ハ、現在ノ交通ノ需要ヲ
満足セシムルト云フコトヲ考ヘルノ外、更
ニ君ガ御尋ニナリマシタヤウナ疑問モ起キ
マス、ソレ等ノ問題ハ措キマシテ、斯様ナ
方法デ統制セラレル限り、茲ニ企圖シテ居
ラレル所ノ統制ノ方法ハ、一元化ノ方針デ
統制セラレル見込デアルカ、ソレトモ或ル
特定區域内ニ於ケル同種ノ交通機關ヲ對立
的ニ統制セシムル方針デアルカドウカト云
フ點ヲ承リタイノデアリマス

○中島國務大臣 其御尋ニ對シマシテモ、
必ズ斯ウスルト云フ一定ノ方針ヲ豫メ決シ
テ置ク必要ハナイト考ヘルノデアリマシテ、
其地方ノ情勢、色々ノ沿革、又實際調整ノ上
カラ考ヘテ適當ナリトスル方法ガ地方々々
ニ依ヅテ種々アラウト思ヒマスガ、ソレハ其

地方ニ即シテ調整委員會ノ議ヲ能ク練ツテ
貰ヒマシテ、其意見ヲ徵シテ其ノ處ニ適應
シタヤウナ方法ヲ執ツテ行キタイ、斯ウ考ヘ
テ居ルノデアリマス

○田中委員

交通事業ヲ統制セラレル場合

ニ於キマシテ、一元化ノ方針ヲ執ルカ、或
ハ對立統制ノ制度ヲ認ムルカト云フコトハ、
是ハ非常ナ重要ナ問題デアツテ、各地方々々
ニ於テ之ヲ決メルノデアルト云フヤウナ
コトハ、政府ノ御方針トシテハドウカト疑
フノデアリマスガ、是ハ又他ノ機會ニ事務
當局カラ御伺スルコトニ致シマス
其次ニハ交通網ノ問題デアリマスルガ、
道路、鐵道、運河其他ノ水路、是等ノ配備
ニ關シマシテハ交通網ヲ決定シテ掛ラネバ
ナラスト云フコトハ、申ス迄モナイノデア
リマスルガ、ドウ云フヤウナ手段デ此交通
網ヲ御決定ニナルノデアラウカト云フコト
ヲ承リタイノデアリマス、ナゼ左様ナコ
トヲ言フカト申シマスルト、現在ノ都市附近
ノ規定ニ依ヅテ都市交通網ノ設定ガサレテ
居ルノデアリマス、此内務省ニ於テヤラレ
テ居ル所ノ都市計畫ト云フモノハ、
成程是ハ委員會ニ掛ケラレテ決定セラレテ
居リマスルガ、實際從來ノ行政ノ實情カラ

申シテ見マルト、内務省ハ圖面ヲ書クノ
ガ役目デアル、其交通網ヲ持ヘサヘスレバ

ソレデ十分デアルト云フヤウナヤリ方デア
リマシテ、實際ハドウカト申シマスト、鐵

道省ハ其交通網ニ關係ナク鐵道ヲ敷設セラ
レル、或ハ此交通網ニ關係ナク地方鐵道ヲ

免許セラレテ居ルヤウナ事例ガ往々ニアル
ノデアリマシテ、必シモ都市ノ交通網ト關
係スルコトガ少イヤウニ思フノデゴザイマ

スガ、是ガ爲ニ民間ハ内務省ノ計畫シマ
シタ交通網ニ依ヅテ事業ヲ策スルノガ正當
カ、或ハ單ニ自分ノ思フ所ノ交通網ヲ選ン
デ陸軍大臣ノ認可ヲ受ケルノガ宜イカト

云フコトニ付テ往々迷フ位ニ、ソレ程
兩者ノ關係ハウマク行ツテ居ナイト私ハ
感ズルノデゴザイマス、今回ノ此法案ニ
依リマスト、交通事業ノ調整ハ委員會ニ依ツ
テ決定セラレルヤウニ相成ツテ居リマスガ、
其調整ノ内容ハ、今申シマシタ交通網ヲ包
含シテ居ル、斯様ニ相成リマシテ、其委員
會ニ於テハ所謂交通網ヲ御決定ニナルニ違
ヒナイト思フノデアリマス、其場合ニ於キ
マシテ、都市計畫法ニ依ル所ノ交通網トド
クコトト考ヘテ居リマス

○中島國務大臣 現在マデハ只今田中君ノ
御述ベニナッタヤウナ種々ノ不便不合理等
モアツタカト考ヘマスガ、此調整法ガ實施
セラレルニ至リマスレバ、ヤハリ此第五條等

ニ依ヅテ、其調整スキ區域内ニ於ケル陸上
交通事業ハ、調整委員會ノ意見ヲ徵シテ免
許スルコトニナリマスカラ、今日マデノ
リマスカラ、都市計畫ノ交通網等ニ準據

致シマシテ、内務省ト鐵道省ト、又調整委
員會等ノ意見ヲ綜合シテヤツテ行クノデア
リマスカラ、都市計畫ノ交通網ガ躊躇ラレ
ルト云フヤウナ關係ヲ持ツノデアルカ、其點

ガ頗ル此法案ニ於テハ不明瞭デアルノデア
リマス、私ノ曩ニ提出致シマシタ交通機關調

整法ニ於キマシテハ、大體調整スペキ區域
ヲ都市計畫法ニ依ル所ノ都市計畫區域ニア
ル所ノ交通機關ト限定シマシテ、都市計畫

リマシテ、實際ハドウカト申シマスト、鐵
道ノ決定スル所ノ交通網トガ相齟齬ヲシナ
イト云フ關係ニ致シマシテ、私ノ私案ヲ出

委員會ノ決定スル交通網ト、調整ノ目的ノ
爲ニ設定スル所ノ交通網トガ相齟齬ヲシナ
イト云フ關係ニ致シマシテ、私ノ私案ヲ出

シタヤウナ次第デアリマスガ、今後ニ於キ
マシテハドウ云フ方法ニ依リマシテ、都市

計畫委員會ノ決定交通網ト、今回ノ審議會
ノ決定交通網トヲ一致セシメラレルノデア
ルカ、萬一是ガ一致セナイヤウナ場合ガアリ

マシタナラバ、ドウ云フヤウニシテ交通網
ヲ調整セラレルノデアルカ、御意見ヲ伺ヒ
マス

○中島國務大臣 現在マデハ只今田中君ノ
御述ベニナッタヤウナ種々ノ不便不合理等
モアツタカト考ヘマスガ、此調整法ガ實施
セラレルニ至リマスレバ、ヤハリ此第五條等

ニ依ヅテ、其調整スキ區域内ニ於ケル陸上
交通事業ハ、調整委員會ノ意見ヲ徵シテ免
許スルコトニナリマスカラ、今日マデノ
リマスカラ、都市計畫ノ交通網等ニ準據

致シマシテ、内務省ト鐵道省ト、又調整委
員會等ノ意見ヲ綜合シテヤツテ行クノデア
リマスカラ、都市計畫ノ交通網ガ躊躇ラレ
ルト云フヤウナ關係ヲ持ツノデアルカ、其點

ガ頗ル此法案ニ於テハ不明瞭デアルノデア
リマス、私ノ曩ニ提出致シマシタ交通機關調

整法ニ於キマシテハ、大體調整スペキ區域
ヲ都市計畫法ニ依ル所ノ都市計畫區域ニア
ル所ノ交通機關ト限定シマシテ、都市計畫

リマシテ、實際ハドウカト申シマスト、鐵
道ノ決定スル所ノ交通網トガ相齟齬ヲシナ
イト云フ關係ニ致シマシテ、私ノ私案ヲ出

シタヤウナ次第デアリマスガ、今後ニ於キ
マシテハドウ云フ方法ニ依リマシテ、都市

計畫委員會ノ決定交通網ト、調整ノ目的ノ
爲ニ設定スル所ノ交通網トガ相齟齬ヲシナ
イト云フ關係ニ致シマシテ、私ノ私案ヲ出

ハ、都市計畫委員會ニ於テ決定シテ居ルノ
デゴザイマス、今後交通事業ヲ調整セラレ
ル場合ニ於テ、新ニ線路ヲ設定スルカ、或
ハ變更スルカト云フコトガ必ズ起ツテ來ル、

此場合ニ於テハ唯單リ此交通事業調整委員
會ノ決定ノミヲ以テ——今大臣ガ御答辯ニ
相成リマシタヤウニ、交通委員會ノ決定ノ
ミヲ以テオヤリニナルト云フコトニナリマ
スト、都市計畫法ノ規定シテ居リマス所ノ
都市計畫區域内ノ交通網ト云フモノハ素レ
テシマフ、サウ云フヤウニ素レルヤウナコ
トガアリマシテハ、都市千年ノ計畫ヲ立テ
ラレテ居ル所ノ内務省ノ都市計畫ト非常ニ
齟齬ヲスル、其點ヲ如何ニ措置ナサレル御
見込デアルカ、其點ヲ御伺ヒシタノデアリ
マス

○中島國務大臣 此調整法ノ主管ハ内務省
ト鐵道省ト共同デヤツテ行クノデアリマシ
テ、隨テ各都市ニ於ケル其地域ノ將來ノ交
通事業ヲ考ヘ、都市計畫ノ交通網等ニ準據
致シマシテ、内務省ト鐵道省ト、又調整委
員會等ノ意見ヲ綜合シテヤツテ行クノデア
リマスカラ、都市計畫ノ交通網ガ躊躇ラレ
ルト云フヤウナ關係ヲ持ツノデアルカ、其點

ケルモノト信ジテ居リマス

○田中委員 私ハ此調整委員會ハ獨立ノ見

内ニ於ケル有ユル交通機關網ト申スモノ

ノカモ分リマセヌガ、都市ノ都市計畫區域

内ニ於ケル有ユル交通機關網ト申スモノ

ノカモ分リマセヌガ、都市ノ都市計畫區域

内ニ於ケル有ユル交通機關網ト申スモノ

ノカモ分リマセヌガ、都市ノ都市計畫區域

内ニ於ケル有ユル交通機關網ト申スモノ

ノカモ分リマセヌガ、都市ノ都市計畫區域

内ニ於ケル有ユル交通機關網ト申スモノ

解ヲ以テヤラナケレバナラヌ機關デアラウ

ト思フ、都市計畫法ニ依ル所ノ都市計畫委員會モ獨立ノ權能ヲ以テヤラネバナラヌ、

唯大臣ノ言ハレルコトニ順應シテ居ルヤウナ委員會ナラバ要ラナイモノト思ヒマスノデ、其間ノ調節ハ非常ニ困難ダラウト思ヒマスガ、大臣ニ對スル私ノ質問ニ多クノ時

間ヲ要シマシテハ、他ノ諸君ノ御迷惑トナ

ラウト思ヒマスカラ、後日又數點ニ亘ツテ御質問ヲシタイト思ツテ居リマスカラ留保シマシテ、大臣ニ對スル質問ヲ打切りマス

○星島委員長 長野高一君
○長野委員 私ハ本案審議ニ當リマシテ一言ダケ大臣ニ御尋致シテ置キタイト思ヒマス、即チ今回政府ガ此案ヲ御作成ニナルニ當リマシテ、其對象トナルベキ事業關係者ノ意見ニ付キマシテハ、ソレノノ機關若クハ團體ヲ通シテ御諸問ニナックコト存ズルノデアリマスガ、只今御配付ニナリマシタ此參考書ヲ見マスト、此陸上交通事業ノ調整ニ付キマシテハ、各方面カラ意見若クハ申合セト云フヤウナコトガ行ハレマシテ、茲ニソレガ掲載サレテ居ルノデアリマスガ、單ニ意見ダトカ申合セラ参考トシテ此案ヲ御作成ニナックノデアリマスルカ、ソレトモ積極的ニソレ等ノ關係事業方面ニ

對シテ御諸問ガアッタノデアリマスカ、此點ヲ先づ御尋シタイノデアリマス

○中島國務大臣 陸上交通事業ノ調整ガ必

要デアルト云フコトハ、多年民間各方面ノ事業者側カラ其要望ガアリマシテ、陳情、請願、建議等ニ依ツテ現レテ來テ居ッタノデアリマス、又先刻田中君ノ申サレマシタヤ

ウニ、議員提出ノ法律案トシテ衆議院ニ上程サレタコトモアルヤウナ譯デアリマス、

各方面ノ要望ハ多年アッタノデアリマス、併シ鐵道省トシテハ其機運ノ熟スルノヲ待ツリト見マシテ、今日マデニ於ケル各方面ノ意見等モ綜合致シマシテ、本案ヲ作成シタ譯デアリマス、而シテ本案ヲ議會ニ提出スルニ付キマシテハ、普通一般ノ方法ハ、委員會ヲ作リマシテ委員會ニ掛ケルノデアリマスケレドモ、本案ハ其轍ヲ踏マズシテ、各事業者團體或ハ協會等ニ此要綱ヲ示シテ諸問致シタノデアリマス、大體其諸問

○長野委員 只今大臣ノ御答辯ニ依リマスルト、政府ガ今回此案ヲ本議會ニ提案サレルニ先立チマシテ、直接各業者ニ對シテ要

綱ヲ御示シニナツタト云フコトデアリマスルガ、今御示シニナリマシタソレノノ團體ノ中ニハ東京市ガ入ツテ居リマセヌガ、是ハ如何ナサレタノデアリマスカ

○勝田政府委員 先程鐵道大臣カラ諸問致シマシタ先ニ付テ御答辯ガアッタノデアリマス、内務省ト致シマシテハ、鐵道大臣ガ御述ニナツタ以外ニ、都市研究會、道路改良會、日本交通協會、其邊ノ所ニ諸問致シマシタ

○長野委員 只今大臣ノ御答辯ニ依リマスルト、政府ガ今回此案ヲ本議會ニ提案サレルニ先立チマシテ、直接各業者ニ對シテ要

綱ヲ御示シニナツタト云フコトデアリマスルガ、今御示シニナリマシタソレノノ團體ノ中ニハ東京市ガ入ツテ居リマセヌガ、是ハ如何ナサレタノデアリマスカ

○長野委員 甚ダ不思議ニ思ヒマスガ、御承知ノ如ク、此參考書類ニモアリマス如ク、東京市ハ電氣局ト云フ一局ヲ設置致シマシテ、多大ノ資本ガ投下サレテ、東京市自體ノ、即チ市民ノ負擔ニ依ツテ交通事業ガ經營サレテ居ルノデアリマスルカラ、之ヲ除外シテ此帝都ニ於ケル交通事業ノ統制計畫ヲ御立案ナサルト云フコトハ、私ハ多少筋違ヒデハナイカト云フヤウニ思ハレルノデアリマス、ト言フノハ、從來鐵道省當局等ニ於カレマシテ、東京市經營ノ交通事業ニ對スル所ノ御方針ガ非常ニ誤ツテ居ッタカラ、今日ノ如キ窮境ニ陥ルコトニナツタ、其責任ハ寧ロ政府御當局ガ其大部分ヲ負ハナケレバナラヌモノデハナイカト云フ風ニ思フノデアリマス、ソレニ付キマシテハ、幾多ノ今日マデノ實例其他證據ヲ此處ニ持ツテ居リマスルガ、是ハ次ノ機會ニ申上ガルコトニ致シマス、兎ニ角斯ノ如ク重要ナル案ガ成セラレルニ當リマシテモ、只今ノ如キ御態度デアルト云フコトニナリマスレバ、近キ將來ニ於テ設置サレル所ノ此交通事業調整委員會等ノ構成ニ付テモ、吾々ハ

ノ致シマスレバ、大體市ノ意向モ入ツテ居ルモノト思ヒマシテ、諸問ヲシナカツタノデアリマス

○中島國務大臣 陸上交通事業ノ調整ガ必

要デアルト云フコトハ、多年民間各方面ノ事業者側カラ其要望ガアリマシテ、陳情、請願、建議等ニ依ツテ現レテ來テ居ッタノデアリマス、又先刻田中君ノ申サレマシタヤ

ウニ、議員提出ノ法律案トシテ衆議院ニ上

程サレタコトモアルヤウナ譯デアリマス、各方面ノ要望ハ多年アッタノデアリマス、併シ鐵道省トシテハ其機運ノ熟スルノヲ待ツリト見マシテ、今日マデニ於ケル各方面ノ意見等モ綜合致シマシテ、本案ヲ作成シタ譯デアリマス、而シテ本案ヲ議會ニ提出スルニ付キマシテハ、普通一般ノ方法ハ、委員會ヲ作リマシテ委員會ニ掛ケルノデアリマスケレドモ、本案ハ其轍ヲ踏マズシテ、各事業者團體或ハ協會等ニ此要綱ヲ示シテ諸問致シタノデアリマス、大體其諸問

○長野委員 サウ云フ事デアリマスルト、少クトモ帝都ノ陸上交通事業ノ調整ニ關スル限リハ、東京ニ於ケル交通機關ノ大部分ヲ占メテ居ル所ノ東京市ニ對シテ御諸問ガ入ツテ居ラスト云フコトニ諒承シテ宜シウナイ、即チ東京市ノ意見ト云フモノガ之ニゴザイマスカ

○中島國務大臣 此諸問ヲ致シマシタ先ハ、大體交通其他ニ關スル團體ヲ對象トシテ諸

問致シタノデアリマス、東京市ハ一つハ自已ガ經營者デアルノデアリマシテ、又市

ノ致シマスレバ、大體市ノ意向モ入ツテ居ルモノト思ヒマシテ、諸問ヲシナカツタノデアリマス

○長野委員 甚ダ不思議ニ思ヒマスガ、御承知ノ如ク、此參考書類ニモアリマス如ク、東京市ハ電氣局ト云フ一局ヲ設置致シマシテ、多大ノ資本ガ投下サレテ、東京市自體ノ、即チ市民ノ負擔ニ依ツテ交通事業ガ經營サレテ居ルノデアリマスルカラ、之ヲ除外シテ此帝都ニ於ケル交通事業ノ統制計畫ヲ御立案ナサルト云フコトハ、私ハ多少筋違ヒデハナイカト云フヤウニ思ハレルノデアリマス、ト言フノハ、從來鐵道省當局等ニ於カレマシテ、東京市經營ノ交通事業ニ對スル所ノ御方針ガ非常ニ誤ツテ居ッタカラ、今日ノ如キ窮境ニ陥ルコトニナツタ、其責任ハ寧ロ政府御當局ガ其大部分ヲ負ハナケレバナラヌモノデハナイカト云フ風ニ思フノデアリマス、ソレニ付キマシテハ、幾多ノ今日マデノ實例其他證據ヲ此處ニ持ツテ居リマスルガ、是ハ次ノ機會ニ申上ガルコトニ致シマス、兎ニ角斯ノ如ク重要ナル案ガ成セラレルニ當リマシテモ、只今ノ如キ御態度デアルト云フコトニナリマスレバ、近キ將來ニ於テ設置サレル所ノ此交通事業調整委員會等ノ構成ニ付テモ、吾々ハ

相當懸念ヲ以テ考慮ヲ拂ハナケレバナラヌト云フコトニ相成ル、其點私ノ氣持ヲ申上ゲマシテ、他ノ質問ハ次ノ機會マデ留保致シテ置キマス

○中島國務大臣

決シテ東京市ヲ輕視シタトカ、除外シタトカ云フヤウナ譯デハナイ

ノデアリマス、東京市ノ電氣局等ハヤハリ鐵道協會ノ「メンバー」ニナッテ居ルノデアリマシテ、鐵道協會ニ諸問題致シマスレバ、東京市ハ交通事業ニ關スル限り、鐵道協會ノ會員トシテ、其ノ諸問題ノ答ニハ參加シタモノ考ヘテ居ルノデアリマシテ、決シテ之ヲ輕視シタ譯デハナイノデアリマス、又調整委員會等ニ付キマシテモ、只今申上ゲタヤウナ精神デゴザイマスカラ、決シテ東京市ヲ除外スルトカ云フヤウナコトハ夢寐ニモ起ルヤウナコトハナイヤウニ氣ヲ付ケテ居ル次第アリマス

○星島委員長

匹田銳吉君

私ハ極ク簡單ナコトヲ伺フノデアリマス、此法案ハ洵ニ吾々ノ豫テ希望シテ居ツタ事柄デアリマシテ、大體ニ於テ何人モ異存ガナイヤウニ思フ、先刻來色々御質問ガアリマシタガ、此際一寸御伺シテ置キタインハ、此法案ニ依ジ統制サレル仕事ハ、現在出來テ居ル鐵道、電車、自動車、サウ

云フモノデアル、無論是カラ私設鐵道ヲ許可

サレル、或ハ鐵道省デ新シイ鐵道ヲ建設サレル、又省營「バス」ヲ始メラレルト云フ場合ニ、此統制ノ主義ニ副ハザルヤウナ方針ヲ御執リ

ニナルコトハ勿論ナイ、其統制ノ大方針ニ基イテオヤリニナルコトデアルト思ヒマスガ、

唯斯ウ云フ事ダケ伺ッテ置キタイ、一體將來國有鐵道ナルモノヘ、建設ノ方針ハ大體ニ於

テ餘リ積極的ニヤラナイ、或ハ省營自動車ト云フヤウナモノヲ以テ、成ベク之ニ代ラ

シメルト云フヤウナ御方針デアルノカ、ド

ウデアルカ、又私設鐵道、私設自動車ナドノ出願ニ對スル許可ノ方針モ、餘リ從來亂

脈ニ流レテ居ツタ嫌ガアルカラ、是カラハ消極的ニヤルト云フヤウナ、消極方針ヲ以テ

御臨ミニナルノデアルカ、或ハ交通事業ノ發達、地方ノ發展ノ爲ニ餘リ消極的ニハヤ

ラナイ、積極的ニ出來得ル限リサウ云フモ

ノヲ許可スル、唯重複ヲ避ケル、統制ノ方針ニ副ハザルモノヲ避ケルト云フコトニハ大

イニ注意スルガ、餘リ消極方針ニハ流レナ

イト云フヤウナコトデアリマスカ、大體ノ可スル私設鐵道デアルトカ、或ハ自動車デ

アルトカ云フモノハヤハリ御諸問ニナルノデアリマスカ

○中島國務大臣

鐵道ニ限ラズ、自動車等ノ

國國運隆昌ノ情勢、又將來吾々ガ想像シ得

ル我國ノ發展ノ盛ナルコトニ想到致シマス整法ヲ發動スル地區ニ於ケル將來ノモノヲ

アルト考ヘテ居ルノデアリマス、而シテ此調整法ハ今マデアリマスル地方鐵道、軌道、

自動車營業者等ヲ調整スルノデアリマスガ、

其他ニ更ニ是カラ建設スペキモノモ、第五條ニ依ッテ調整委員會ノ意見ヲ徵シテカラ

行フコトニナリマスカラ、此調整法ガ將來ノモノニ對シテモ及ブコトニナルト御考ヲ

願ヒマス

○匹田委員 積極的ニヤルト云フ最モ強キ

御聲明ヲ承ッテ私モ満足致シマス、就キマシテハ餘リニ統制々々ト云フヤウナコトデ色々ウ云フ交通機關ノ發達ニ對シテ將來餘

リ出願スルコトガ出來ナイノデアル、計畫

スルコトガ出來ナイノデハナイカト云フヤ

ウナ不安モアルヤウデアリマス、只今ノ御

聲明ニ依リマシテ、兎ニ角積極的方針ヲ以

テ臨ムト云フ趣意ヲ承ッテ満足スル譯デア

リマス、今度出來ル委員會ニハ、是カラ許

可スル私設鐵道デアルトカ、或ハ自動車デ

アルトカ云フモノハヤハリ御諸問ニナルノ

デアリマスカ

○中島國務大臣

此調整法ヲ發動スル場合

ト云フコトヲ調整委員會ニ諸ッテヤルノデアリマスガ、其調整委員會ノ議ヲ經テ此調

整法ヲ發動スル地區ニ於ケル將來ノモノヲ調整委員會ニ諸ルト云フコトニナルノデアリマシテ、ソレ以外ノ地區ハ今マデノヤリ

調整委員會ニ諸ルト云フコトニナルノデアリマシテ、ソレ以外ノ地區ハ今マデノヤリ

方デ進ンデ行クノデアリマス

○星島委員長 山田君ノ番デスケレドモ居マセヌヤウデスカラ、松永君、御質問ヲ願ヒマス

○松永委員 ソレデハ一寸一點ダケ申上ゲマス、私ハマダ自分ノ番ガ來ナイト思ッテ能ク調査研究シテ居ラヌデスガ、唯一點ダケ御伺シタイノハ、此案ヲ見マスト云フト、

第二條ノ一二「會社ノ合併又ハ設立」ト云フ文句ガアリマシテ、唯新設會社ヲ作ルカ、若クハ舊會社ヲ合併スルカト云フヤウナコトヲ想定シテ御起案ニナッテ居ルヤウナ案ノ如ク拜見サレルノデアリマス、トコロガ御承知ノ通リ公共團體ニ於テハ主トシテ交通關係ニハ莫大ナ資金ヲ投ジテ居ルノデアリマシテ、而モ久シキニ瓦ツテ經營ヲ重ネテ今日マデヤッテ參ッテ居ルノデアリマス、隨テ今後ノ統制ハ私共ノ考方カラ致シマスナラバ、

ウシテ經營ノ任ニ當リツ、アリマスル公共團體ヲ主トシテヤハリ其經營ノ任ニ當ラセ

之ヲ統制セシムルト云フヤウナ御考方カラ
其局ニ當ラレル人ハヤラナケレバイケナイ
ノデハナイカト云フ風ニ考ヘテ居ルノデア
リマスガ、大臣ノ御考ハ唯單ニ先程承ッテ居
リマスル通り、交通事業調整委員會ニ一切
ヲ委ネテ置イテ、サウシテ其委員會ノ手ニ
依ッテ何等カノ成案ヲ得テヤラシムルコトノ
ミニ依ッテ満足スルト云フ思召デアルカド
ウカ、其點ヲ承ッテ置キタイ

○中島國務大臣 公共團體トソレ以外ノ營
業者トノ間ヲ如何ニ調整スルカト云フヤウ
ナコトハ、大體調整法ノ趣旨ガ調整委員會
ノ議ヲ經ルケレドモ自治的協定ヲ主眼ト致
シマスノデ御互ノ話合ニ依ッテ調整スルト
云フコトヲ主眼トシテ居ルノデアリマス、
隨テ公共團體ト其他ノ營業者トノ間ノ調整
ハ十分其間ニ話各行ハレテドチラニシタ方
ガ宜イカ、或ハ公共團體ニソレヲ合併スル
方ガ宜イカ、或ハ別ノ會社ヲ作ッテ兩方カラ
出資シテヤル方ガ宜イカ、或ハ事業ノ管理
ヲ委託スル方ガ宜イカト云フコトヲ御互ノ
間デ能ク話シテ決マルコトヲ望ンデ居ルノ
デアリマス、御互ノ間デ決マラナイ場合ニ
ハ調整委員會ニ掛ケマシテ衆智ヲ集メテ一
番良イ案ヲデッチ上げテ之ヲ裁定スルト云
フコトニナルノデアリマシテ、決シテ調整

委員會ノ意見ノミニ依ルノデハナイノデア
リマス、大體ヤツテ居ル業者ノ意見ガ主ニナ
ルノデアリマス

○松永委員 結局大臣ノ御考ヲ煎ジ詰メテ
見レバ、調整委員會ノ手ニ委スルト云フコ
トニナラザルヲ得ヌト思フ、話合ノ上デ各
營業者主體ガ協定シテヤラウトハ吾々ノ常
識判断カラ行ツテ考ヘラレマセヌ、何レモ我
田引水ノ議論ヲヤルコトニナリマセウシ、
其間ニ於テハ自然利害ノ伴フ問題デアリマ
スカラ、到底斯ウシタ大キナ事業ニ當ツテ居
ルモノガ、協定ガ出來ヨウトハ思ヘナイ、
煎ジ詰メレバ結局ハサウ云フ思召ガアルト
致シマシテモ、交通事業調整委員會ノ議ニ
依ッテ裁定ヲスルト云フヨリ外ナイト思ヒ
マスガ、私共ハ此案ガ勿論色々鐵道省ニ於
テ御研究ノ結果御提案ニナッタコトハ信ジマ
スケレドモ、主トシテ此案ノ前提ヲ爲シタ
モノハ、内務省ノ都市研究會ガ作製シマシ
タ「東京市及其ノ附近ニ於ケル交通統制案要
綱」ト云フノガアリマスガ、ソレニ依ッテ斯ウ
シタ案ガ出來タノデハナイカト考ヘラレル
ノデス、ト申シマスノハ此案ノ中ニハ大部
分今申上ゲタ交通統制案要綱ノ内容ガ織込
マレテアルノデス、此案ヲ一讀致シマスト

見方ノヤウニナツテ居ルヤウニ思ヒマスガ、
東京市ノ交通ノ歴史ヲ繙イテ見マスルト云
ガ申上ゲル迄モナク御分リノヤウニ、曾テ
ハ會社デ經營シテ居リマシタ、其會社ノ經
營ガ甚ダシキ不利益ヲ市民ニ招來スルト云
フノデ、東京市ニ於テ之ヲ經營スルコトニ
ナツタ、今日マデ幾多ノ困難ニブツカリマシ
テ、特ニ著シイ困難ハ大正十二年ノ大震災
デスガ、其困難スラモ漸ク切抜ケテ今日マ
デ困難ナ經營ヲ經テ參ツタノデアリマス、ソ
レヲ又會社ヲ作ッテ、其會社ニ經營ヲ任セル
ト云フヤウナコトガアルトスルナラバ、會
社ガ經營シテ居ツタ、ソレガイカヌト言ツテ
市ガ經營スルヤウニナリ、又ソレガ良クナ
イト言ツテ會社ガ經營スルコトニナル、馳
ゴッコデ何ヲヤッテ居ルカ分ラヌヤウニナ
マス

○松永委員 大體私ノ大臣ニ質問致シタイ
コトハ是デ終リマシテ、後デ事務的ノコト
ハ他ノ機會ニ又申上ゲマス、御諒承ヲ願ヒ
マス

○星島委員長 小平君

○小平委員 私ハ二三ノ點ニ付キマシテ主
務大臣ニ御尋ヲシテ見タイト思フノデアリ
マス、第一ニ御伺致シタイコトハ、陸上交
通事業調整法ノ最終ノ目的ハ奈邊ニアルカ、
私共ノ推察スル所ニ依リマスト、此全國ノ
調整ト云フモノガ出來マシタナラバ、自動
車運輸事業ノ如キハ、將來國營トシテ、省
營「バス」トシテ鐵道省ガ經營ヲスルト云フ

ヤウナ御考ガアルカドウカト云フコトヲ御
伺シテ見タイト思ヒマス、私共ガドウシテ
從來鐵道省ノオヤリニナッテ居ル狀況ヲ見
マスト、私共ノ知ッテ居ル範圍ニ於キマシ
テハ、最初ノ省營「バス」ノ目的ハ、鐵道ノ
培養線若クハ連絡、或ハ民間業者ノ經營出
來ナイ所ニ對シテハ省營「バス」ヲヤル、斯
ウ云フヤウナ理想ノ下ニ御始メニナッタ
私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、所ガ數年經
チマセヌ内ニ、民間業者ガ長イ間非常ナ苦
心ヲシテ經營ヲシマシタ、而モ非常ニ利益
ノアル線ニ對シマシテ、省營ヲ開始スルト
云フヤウナ狀況ニナッテ參ッテ居ルノデアリ
マス、ソレガ爲ニ民間業者ト省營自動車ノ
摩擦ト云フコトハ、有ユル角度ニ於キマシ
テ皆様ノ御承知ノ通リデアリマス、殊ニ省
會ニ向ッテ建議ヲ出スト云フヤウナ運動モ
業者ハシテ居ルヤウニ聞イテ居ルノデアリ
マス、サウ云フヤウナコトデ最初ノ鐵道ノ
計畫ガ順次今日ハ營利化シテ參ッタ、最初ノ
目的ノ唯培養線、或ハ民間業者ノヤッテ利益
ノナイ所ニノミヤルノデナクテ、本當ニ營
業化シテ參リマシテ、省營「バス」ニ依ッテ相

當ナ利益ヲ上ゲヨウト云フヤウナコトニ變ツ
テ來テ居ルト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、
サウ云フコトヲ申上ゲルカト言ヒマスト、
從來鐵道省ノオヤリニナッテ居ル狀況ヲ見
マスト、私共ノ知ッテ居ル範圍ニ於キマシ
テハ、最初ノ省營「バス」ノ目的ハ、鐵道ノ
培養線若クハ連絡、或ハ民間業者ノ經營出
來ナイ所ニ對シテハ省營「バス」ヲヤル、斯
ウ云フヤウナ理想ノ下ニ御始メニナッタ
私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、所ガ數年經
チマセヌ内ニ、民間業者ガ長イ間非常ナ苦
心ヲシテ經營ヲシマシタ、而モ非常ニ利益
ノアル線ニ對シマシテ、省營ヲ開始スルト
云フヤウナ狀況ニナッテ參ッテ居ルノデアリ
マス、ソレガ爲ニ民間業者ト省營自動車ノ
摩擦ト云フコトハ、有ユル角度ニ於キマシ
テ皆様ノ御承知ノ通リデアリマス、殊ニ省
會ニ向ッテ建議ヲ出スト云フヤウナ運動モ
業者ハシテ居ルヤウニ聞イテ居ルノデアリ
マス、サウ云フヤウナコトデ最初ノ鐵道ノ
計畫ガ順次今日ハ營利化シテ參ッタ、最初ノ
目的ノ唯培養線、或ハ民間業者ノヤッテ利益
ノナイ所ニノミヤルノデナクテ、本當ニ營
業化シテ參リマシテ、省營「バス」ニ依ッテ相

業ヲ起ス上ニ於キマシテ、サウ變化ヲスル
ト云フコトハドウ云フ理由ニ依ルカ、甚ダ
疑問ニ堪ヘナインデアリマス、尙又此處ニ
申上ゲタイコトハ、私共重ネテ心配ヲスル
コトハ、從來自動車ノ連絡ト云フヤウナ場
合ニ於キマシテ、手續ニ非常ナ困難ヲ感ジ
タト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、業者
ニ鐵道省カラ交渉ヲ致シマシテ、複雜ナル
所ノ交通機關ヲ整理シヨウト云フヤウナ命
令或ハ依頼等ノアツタ場合モアルノデアリ
マス、サウ云フ風ナ路線ニ對シマシテ、民
間業者ガ非常ナ犠牲ヲ拂ヒマシテ之ヲ統一
シ、現在ハ漸ク收益ヲ擧ゲルト云フヤウナ
狀況ニナッテ參リマスルト、此收益ノ狀況ヲ
見究メテ、直チニ又省營「バス」ヲヤルト云
シテモ、鐵道大臣ニ陳情スルトカ、或ハ議
會ニ向ッテ建議ヲ出スト云フヤウナ運動モ
スルト、鐵道省ハ此際交通事業調整法ト云
フモノヲ出シテ、最モ困難ナル所ノ民營ノ交
通機關ヲ調整シ、最後ノ目的トシテハ之ヲ
國營ニ取上げテ、サウンシテ國營トシテ仕事
ヲスルノデハナイカト云フヤウナ疑惑ヲ
多々含ムノデアリマス、此點ニ付キマシテ

大臣ノ明確ナル御答辯ヲ頂戴致シタイト思
ヒマス
○中島國務大臣 此調整法ノ終局ノ目的ト
スル所ハ、先刻カラ度々申上ゲタヤウニ、
ト云フコトハドウ云フ理由ニ依ルカ、甚ダ
疑問ニ堪ヘナインデアリマス、尙又此處ニ
申上ゲタイコトハ、私共重ネテ心配ヲスル
コトハ、從來自動車ノ連絡ト云フヤウナ場
合ニ於キマシテ、手續ニ非常ナ困難ヲ感ジ
タト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、業者
ニ鐵道省カラ交渉ヲ致シマシテ、複雜ナル
所ノ交通機關ヲ整理シヨウト云フヤウナ命
令或ハ依頼等ノアツタ場合モアルノデアリ
マス、サウ云フ風ナ路線ニ對シマシテ、民
間業者ガ非常ナ犠牲ヲ拂ヒマシテ之ヲ統一
シ、現在ハ漸ク收益ヲ擧ゲルト云フヤウナ
狀況ニナッテ參リマスルト、此收益ノ狀況ヲ
見究メテ、直チニ又省營「バス」ヲヤルト云
シテモ、鐵道大臣ニ陳情スルトカ、或ハ議
會ニ向ッテ建議ヲ出スト云フヤウナ運動モ
スルト、鐵道省ハ此際交通事業調整法ト云
フモノヲ出シテ、最モ困難ナル所ノ民營ノ交
通機關ヲ調整シ、最後ノ目的トシテハ之ヲ
國營ニ取上げテ、サウンシテ國營トシテ仕事
ヲスルノデハナイカト云フヤウナ疑惑ヲ
多々含ムノデアリマス、此點ニ付キマシテ
業本位カラ省營「バス」ヲドウスルト云フヤ
ウナコトハ考ヘテ居ラヌノデアリマシテ、

足スル程度ノ補償令デハナイノデアリマス、尙ホ鐵道省ニ於キマシテモ、是等ノコトニ以テ是ガ改正ニナルト云フヤウナ話ヲ聞イテ居ルノデアリマスガ、是ハ何時頃マデニ此勅令ヲ御出シニナル積リデアルカ、此點ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス、尙ホ現在ノ補償令ト云フモノハ、御承知ノヤウニ省營デ營業致シマシテ七箇年間ノ利益ニ該當スルモノヲ補償スルト云フヤウナコトニナツメ居ルノデアリマシテ、恐ラク私ハ此補償令ニ據リマシタナラバ、買收サレマシタ所ノ路線ニ對シテ法ノ命ズル所ニ依ッテ正式ニ補償ヲシテ貰ヘルト云フヤウナ路線ハ少イデヤナイカ、斯ウ考ヘテ居リマス、勿論民營トハ違ヒマシテ省營デ營業スルト云フヤウナコトニナリマスルト非常ナ無駄ガアリマス、大概ナ良イ路線デハ儲カリヤウガナイノデアリマス、殊ニ昔カラ暨ニナツテ居リマスルガ、士族ノ商法ト云フヤウナ調子デアリマシテ、到底私共ガ考ヘテモ役人ガ自動車ト云フモノヲヤリマシテモ儲カルトヘ利害ノアツタ場合ノ七箇年間分ヲヤルト云フヤウナコトデアリマシテ、到底吾々民營業者ノ立場ニナリマシテ考ヘテ見マシテ

モ、斯ウ云フ補償デハ満足ガ出來得ナイト
左様ナ状況デアリマスルノデ、一日モ早く
此勅令ヲ出シマシテ、サウシテ是等ノ民營
業者ニ對シマシテ完全ナル補償ヲスルコト
ガ最モ急務デアルト考ヘテ居リマスガ、之
ニ對シマシテ大臣ノ御答辯ヲ願ヒタイト思
ヒマス

○中島國務大臣 民營自動車ノ補償法ニ關
シマシテハ、從來其不備ヲ認メマシテ只今
改正案ヲ作成シマシテ、各關係廳ト協議中
デアリマス、隨テ近ク新補償法ガ制定セラ
レルモノデアラウト考ヘテ居リマス

○小平委員 尚ホ一ツ御伺シタイト思ヒマ
ス、ヤハリ民營自動車ト省營自動車ノ問題
デアリマスガ、省營自動車ガ開始ニナリマ
シテ、鐵道カラノ交渉ヲ受ケマシテ民營自
動車ガ休止ヲシタト云フヤウナ場合ニ於キ
マシテハ、今回ノ交通事業調整法ガ施行ニ
ナリマシタナラバ、此施行法ニ依リマシテ
處理セラレル、即チ讓受ノ場合第一條ノ第
二項ヲ適用サレマシテ、ソレニ依テ調整委
員會ニ掛ケマシテ之ヲ決定スルモノデアリ
マスカ、又既ニ休止シテ居ルモノニ對シマ
シテハ、從來ノ補償令一本デ行キマスノデ
スカ、此點伺ッテ置キタイト思ヒマス

○中島國務大臣　此調整法へ地區々々ニ應ジテ調整委員會ノ意見ヲ徵シテ、其地區ヲ決定シテ調整法ヲ發動スル地區ニ入ッテ居ルモノニ關シテハ、調整委員會ニ掛ケル、決定ノ方ハ實ハ御互同士デ大體調整ヲシテ貴フ、御互同士デ出來ナカッタ場合ニハ調整委員會ノ議ニ依ツテ決定スルノデアリマス、隨テ調整地區、詰リ此調整法ヲ發動スル地區ニ入ラヌ所ノモノハ、從來ノ又ハ今カラ出來ル規則ニ依ツテヤッテ行クノデアリマス。○小平委員　能ク分リマシタ、尙ホ續キマシテ調整法ノ第二條第二項ニ對シマシテ、大臣ガ譲受若クハ讓渡ト云フヤウナ場合ニハ命令ヲ發スルト云フヤウナ場合ニハ、其命令ヲ發スル前ニ調整委員會ニ諮詢ニナルコトヘ此規定ノ通リデゴザイマス、其場合ニ於キマシテ大臣ノ諮詢スル其原案、即チ讓受若クハ讓渡ノ價格デアリマス、此價格ノ決定ト云フコトガ當事者間ニ於キマシテ餘程利害關係ノ重大ナルモノデアリマスノデ御伺シテ置クノデアリマスガ、如何ナル點ニ是ノ基準ヲ置キマスカ、假ニ自動車運輸事業ニ致シタナラバ、自動車ノ「キロ」數ニ依ツテ之ヲ計算スルカ、或ハ營業ノ狀態ヲ見ルカ、若クハ自動車數トカ、サウ云フ風ナ色々

ナ計算ノ方法ガゴザイマセウガ、細カインコトハ事務當局カラ拜聽シタイト思ヒマスガ、大體ノ輪廓ダケモ大臣カラ御説明ガ願ヘレバ結構ダト思ヒマス

○中島國務大臣 譲受、譲渡ノ價格ノ基準ニ付キマシテハ、寧ロ一定ノ基準ヲ作ッテ置カヌ方ガ公平デアラウト考ヘタノデアリマス、此調整法ハ地方々々ニ依リ、地區々々ニ依ッテヤルノデアリマスカラ、東京ニ於ケルモノ、或ハ田舎ニ於ケルモノ、或ハ大阪ニ於ケルモノト云フヤウナ、今マデニ、出來マシタ事業者ノ沿革、實情等ニ依ッテ種々異ナルモノガアラウト考ヘルノデアリマスカラ、寧ロ一定ノ基準ヲ作ラズニ置イテ、其時ニ業者間ニ十分ニ肚ヲ割ッタ話ヲシテ、御互ノ話合ニ依ッテ纏メル、若シ纏マラヌ場合ニハ衆智ニ依ッテ最モ適良ナル裁定案ヲ作ルト云フコトガ、一定ノ基準ヲ豫メ作ッテ置クヨリモ却テ穩當デアラウト考ヘテ之ヲ作ッテ居ラヌノデアリマス

○小平委員 私ハ今大臣ノ御説明ヲ拜聽致シマシタガ、此御説明ニ對シマシテハ甚ダ私共ハ反対ノ意見ヲ持ッテ居ルノデアリマスガ、此コトハ事務上ノコトニモ瓦リマスカラ後日事務當局カラ拜聽スルコトニ致シタイト思ヒマス、尙ホ商工省關係ニ關聯シ

タ問題ガアリマスノデスガ、後日ノ質問ニ
讓リマシテ、私ノ御質問ハ是デ止メマス
○星島委員長 次ハ續イテ安藤孝三君
○安藤委員 私ハ議事進行ノ時ニ申上ゲヨ
ウト思ヒマシタガ、遅レマシタノデ簡単ニ
當局ノ御意見ヲ本日ハ御伺シタイノデアリ
マス、當局ノ此法案ヲ御出シニナルニ付テ
ノ信念、噂ニ聞キマス所ニ依リマスルト、
鐵道ノ或ル一部ノ人ガ——私ハ斯ウ云フコ
トハ全然ナイトハ思ヒマスルガ、火ノ無イ
所ニ煙ハ立タヌト云フ昔カラノ譬モアル通
リニ、何デモ構ハヌカラ此ドサクサ紛レニ
此法案ヲ出シテ通シテシマハウト云フヤウ
ナ噂ヲ漏レ承ッテ居ルノデアリマスルガ、斯
ウ云フコトハ全然ナイトハ思ヒマスルガ、
是ハアツトスルト議事ノ進行ノ上ニ私ハ
大ナル支障ヲ來ス虞ガアルト思フノデアリ
マス、此法案ヲ御出シニナルニ付テノ信念
ヲ御伺ヒシタイノデアリマス

其次ニハ鐵道省ガ色々ナモノヲ統制セラ
レマシテ、最近ニ於テ統制セラレマシタ日
本通運會社ト云フモノノ資料ヲ、議事ノ進
行上一ツ御提供ガ願ヒタイノデアリマス、
大變鐵道省ガ御骨折リニナリマシテ、一驛
一店主義ノ運送屋ガ出來マシタト云フコト
ハ結構ナコトデアリマス、著々成果ヲ擧ゲ
是ガ爲ニ非常ニ滯貨ガ多クナリ、サウシテ
荷物ノ扱ヒガ粗雑ニナリマシタ、其爲其運
送屋ニ餘リ取扱ガ粗雑ダト思ツテ小言ヲ言
レト言フ、斯ウ云フ實例ガアリマスカラ、一
ツ此近況ノ資料ヲ戴キタイノデアリマス
ソレカラ調整委員ト云フモノヲ御作リニ
ナルト云フコトヲ先程カラ聞イテ居リマス
ルガ、今マテ鐵道ノ方ノ御話ヲ聽イテ見マ
スルト、何デモ鐵道ノ方ノ都合ノ好イ人ヲ
此委員ニ賴ミマシテ、サウシテ汽車ノ「バ
ス」ヲヤリマス、サウスルト「バス」ガ惜シイ
カラ反對ガ出來ヌ(笑聲)サウシテ鐵道ノ役人
ノ勝手ニ決メタモノニ皆賛成シテシマッテ、
グズ〜言フトオ前ハ辭メテ吳レ、他ノ人ニ
委員ニナツテ貴フト言フ、サウ云フ惡例ガア
ル、之ニ付テ當局ハドウ云フ御意見ヲ持ッテ
居ラレルカ、ソレカラ先程モ大臣カラ他ノ
方ノ質問ニ答ヘテオ居デニナツタガ、此調整
法ニ付テ國內ダケデ宜イノカ、或ハ日本ノ
大陸政策ニ基イテ日滿支共ニ結ブト云フヤ
シテ、長イ前カラ此必要ハ政府モ社會モ痛
感シテ居ツタノデアリマス、ソレヲ今回大體
ニ機運モ熟シテ來テ居ルシ、此事變等ノ關
係カラ「ガソリン」ノ節約トカ色々ナコトモ
アルノデアリマシテ、業者ノ考ヲ聽イテ見
マシテモ、モウ此程度デ競争ヲ止メテ一ツ
ニ、洩レ承ルト鐵道省ハ數百問ニ瓦ル質疑
應答ノ問答ヲ御作リニナツテ居ルト云フ御

テ居ルサウデゴザイマスガ、或ル一部デハ
議事ノ進行ハ直グ出來ル、(笑聲)ソレヲ一
ツ参考トシテ御提出ガ出來ルカドウカト云
ヒマスト、惡カツタラ餘所ヘ持ッテ行ッテ吳
マダ研究ガ出來テ居リマセヌカラ(笑聲)
又何レ他日ノ委員會デ御尋ヲ致シマス
○中島國務大臣 此案ヲ提出シタ動機ガ、
ドサクサ紛レニ出シテ善惡ニ拘ラズ通サウ
ト云フヤウナ意味デハナイカト云フ御間ヒ
デアリマシタガ、全然サウ云フコトハナイ
ノデアリマス、先刻モ申上ゲマシタ通り、
此調整法ノ必要ナルコトハ、多年民間側カ
ラノ聲ガ盛ンデアリマシテ、早ク調整法ヲ
制定シロト云フコトガ、陳情、建議、請願
等ニ依ッテ多々現ハレテ來テ居ル、現ニ去年
ノ議會ニハ議員ノ方カラ提出サレテ衆議院
ニ上程サレタヤウナ譯デアリマシテ、是ハ
突然此必要ヲ感ジタ譯デハナイノデアリマ
シテ、長イ前カラ此必要ハ政府モ社會モ痛
感シテ居ツタノデアリマス、ソレヲ今回大體
ニ機運モ熟シテ來テ居ルシ、此事變等ノ關
係カラ「ガソリン」ノ節約トカ色々ナコトモ
アルノデアリマシテ、業者ノ考ヲ聽イテ見
マシテモ、モウ此程度デ競争ヲ止メテ一ツ
ニ、洩レ承ルト鐵道省ハ數百問ニ瓦ル質疑
應答ノ問答ヲ御作リニナツテ居ルト云フ御

話ダガ(笑聲)ソレヲ一ツ提出シテ貰ッタラ
ス、ソレカラ委員會ノ構成ヲ鐵道省ガ自分
ノ勝手ノ者バカリ任命シテ勝手ニヤルト云
フヤウナ御話ガアリマシタガ、此調整委員
會ハ内閣總理大臣ヲ首班トスル所ノ内閣ニ
屬スル調整委員會デアリマシテ、其調整委
員ノ任命ハ内閣ニ於テ行フコトニスル豫定
デアリマス、尙ホ此委員會ハ中々重要ナル
ノデアリマス、先刻モ申上ゲマシタ通り、
此調整法ノ必要ナルコトハ、多年民間側カ
ラノ聲ガ盛ンデアリマシテ、早ク調整法ヲ
制定シロト云フコトガ、陳情、建議、請願
等ニ依ッテ多々現ハレテ來テ居ル、現ニ去年
ノ議會ニハ議員ノ方カラ提出サレテ衆議院
ニ上程サレタヤウナ譯デアリマシテ、是ハ
突然此必要ヲ感ジタ譯デハナイノデアリマ
シテ、長イ前カラ此必要ハ政府モ社會モ痛
感シテ居ツタノデアリマス、ソレヲ今回大體
ニ機運モ熟シテ來テ居ルシ、此事變等ノ關
係カラ「ガソリン」ノ節約トカ色々ナコトモ
アルノデアリマシテ、業者ノ考ヲ聽イテ見
マシテモ、モウ此程度デ競争ヲ止メテ一ツ
ニ、洩レ承ルト鐵道省ハ數百問ニ瓦ル質疑
應答ノ問答ヲ御作リニナツテ居ルト云フ御

○安藤委員 今鐵道大臣ハ中々旨イコトヲ
ト言ハレマシタ、「ガソリン」ノ節約ニモナル
デハアルマイ、本當ナラ他ノ大臣ハドウデ
モ宜イガ、言明セラレタ大臣ハ節約シテ貰
ヒタイト思フ、鐵道省デモ下ノ方ノ役人ノ
乗ル自動車ハ小サイ油ノ要ラヌ自動車デス
ガ、偉イ人ハ見榮ヲ張ル爲ニ大キイ油ノ餘
計要ル自動車ニ乗ラレル、是ハドウシタ譯
デスカ

○中島國務大臣 「ガソリン」ノ節約ト云フ
ノハ實ハ時局ニ即應シテ、「ガソリン」ノ輸
入量ヲ制限致シマシタ結果、業者ニ銳イ
「ガソリン」ノ制限ガ加ヘラレテ參ッタノデ
アリマス、是ガ爲ニ業者モ營業ヲ繼續スル
上ニ苦痛ヲ感ジテ居ルノデアリマス、是等
ノ點カラ早ク調整法デモ出來テ、現在澤山
竝立シテ居ルコトガ緩和サレタナラバト云
フヤウナコトヲ陳情シテ參ッテ居ルノデア
リマシテ、ソレヲ申上ゲタノデアリマス、
又事實ニ於テ此調整法ガ行ハレテ、一ツノ
路線ニ多數竝立シテ競争シテ居ルモノガ統
合セラレルコトニナリマスレバ、「ガソリン」
ノ節約上ニモ多大ノ效果ガアルト考ヘテ居
ルノデアリマス、尙ホ鐵道省ニ於ケル自動

○安藤委員 今言ハレタノハドウモ私ノ腑ニ落チナイ、無駄ノ運轉ヲシテハイカヌト云フコトハ分ヅテ居ル、此間私議會中ニ惡イコトデアリマスガ家ノ方ヘ歸リマシタ所、家ノ子供カラ、此間縣知事サント署長サンガコチラヘ廻ツテゴザッタ、縣知事サンノ乗ツテ居ルノハ大キナ自動車、アノ大キイ自動車ハ油ガ餘計要ラヌノカ、斯ウ云フ非常時ハ油ヲ節約セヨ、節約セヨト言ツテ居ラレルガ一體アノ大キイ自動車ハ油ガ要ラヌノデ乗ツテ居ルノカドウダト言ウテ聞カレタノデ、ソイツハ能ク分ラナイガ、餘計要ルノヂヤアルマイカ、オ前達ハ無駄ヲ省イテ國家ノ爲ニ盡サナケレバナラヌゾト言ツテ來タヤウナ譯デアリマスガ、私ハ敢テ外國ノ例ハ取リマセヌ、ケレドモ是ハ取ラネバドウモナラヌノデ申上ゲマスガ、伊太利ノノニ、盲判カドウカ分ラヌガ、小型ノ自動車デ廻ツテ「ガソリン」ナドノ節約ヲ圖ツテ居ムソリーニガ各省ヘ盲判ヲ押シニ行クルト云フコトヲ聞ク、此非常時ニ私ハ軍事

上ニ要ルモノハ如何ニ油ガ澤山要ツテモ構ト思フガ、一ツ大臣諸公カラ出來ルダケサイ自動車ト乗換ヘテ貰ツテ、國民ニ範ヲ示シテ戴キタイト云フコトヲ望ンデ今日ハ是デ打切りマス

○深澤委員 一、二點御伺申上ゲマスガ、此間本會議デ大臣ハ統制ガアツテモ地方ノ鐵道ハ此調整ノ中ニ入レヌト云フ御話ガアリマシタガ、東京循環鐵道ハ地方ノ鐵道トシテ此調整ノ中ニ御加ヘニナル御心持ニアリマセウカドウカト云フノガ第一點、ソレカラ一般的ニ本法ニ依ルト自治體ガ株券ヲ持ツテ會社ニ參加スルコトガ出來ルヤウニナッテ居リマスガ、是ガ今マデ出來ナカッタ爲ニ自治體、殊ニ東京市等ハ無理ナ營業ヲ致シテ來タ、此電車自動車等ニ於キマシテモ半官半民ノモノニスルコトガ當然デアリマシタケレドモ行ヒ得ラ、レナイデ今日マデ來タノデアリマス、ソレデ今回ハ斯ウ云フヤウナ便宜ナ途ガ開カレタトシマスルト大分法案ノ立方モ色々ナ方面ニ考ラ廻ラスコトガアルヤウニ見エマス、單リ是ハ自動車ニ限ラズ、自治體ニ於キマシテ少クトモ六大城市アタリモノハ電氣ノ經營ニシマシテモ現在東京市ハ東電ト市電トノ二電協

定デ配電ヲヤツテ居ルト云フヤウナコトモニ當リマシテモ、或ハ瓦斯會社ナド年中紛メテ居リマスガ、是モ亦半公平民ノモノニ改メナケレバナラヌ機運モ來ルト云フコトヲ考へ合セマスルト、茲ニ一つスウ云フ株券ヲ持ツテ會社ニ參加スル途方開ケルトスルト、他ノ公共的性質ヲ帶ビタモノニ對シテモ其途ヲ開カレル原則ガ立テラレテ茲ニ斯ウ云フヤウナモノガ出サレタノカ、ソレトモ是ハ一つ特別デ、他ノ公共機關ニ對シテハサウ云フ途ヲ開ク意思ハナイト仰シヤルノカ、是ガ第二點、ソレカラ第三點トシマシテハ「ガソリン」ノ急激ナル節約、今日東京市ハ大阪市ト共ニ一割ノ強制節約ヲ市營「バス」ニナサシメテ居リマス、來月カラハ三割ノ強制節約ヲシナケレバナラヌ、三割節約スレバドウ繰廻シテモ二割五分以上ノ運轉手ヲ馘首シナケレバナラスト云フコトデ、今市民ノ便不便ハ別ト致シマシテ、當面ノ問題トシテ非常ニ苦シンデ居リマス、斯様ナコトハ獨リ自治體ノ扱ツテ居ル「バス」バカリデナク全國一般ニ出來上ツテ來ル問題デアリマスガ、先程日満支ノ關係ノ御話モノアリマシタ如ク、満鐵北支方面デ大變人ノ募集モアルヤウデスガ、斯様ナ方面ニ

何カ政府ノ手ニ依ツテ連絡ヲ執ラシメ、内地
デ強制三割節約ヲナサシムルコトニ依ツテ
失業者ヲ生ズル場合、政府トシテ此間ノ心
配ヲシテヤル考ハナイカト云フ三點ニ付テ
御伺致シタイト思ヒマス

○中島國務大臣 東京ニ於ケル循環鐵道中國有鐵道モ此調整ニ參加スルノカト云フ御話デアリマシタガ、度々申上ゲテ居リマスヤウニ是ハ參加致スノデアリマス、第二點ノ問題ニ付キマシテハ内務省側カラ御答スルコトガ便宜ト存ジマス、ソレカラ第三點ノ「ガソリン」節約ニ因ル失業者等ニ對シテ相當ノ考慮ヲ拂フベキデアルト云フ御問ハ洵ニ御尤デアリマシテ、是ガ爲ニ失業者ガ出来ルヤウナ場合ニ於テハ政府トシテモ相當ノ方法ヲ講ジナケレバナラスト考ヘテ居リマス

○深澤委員 モウ一點御伺致シタイノハ、
自治體ト云フモノハ非常ニ不便デアリマシテ、内務省ノ許可ヲ得ナケレバ何事モ出來ヌノデスガ、ドウシテモ許可ヲ得ラレナイデ到頭東京市ガ手放シタノガ今ヤッテ居リマスノハ、附帶事業トシテ驛ノ基點ニ大キナ阪デ非常ニ郊外電車等ガ收益ヲ擧ゲテ居リマスカ、仕事自體ハ自治體ガヤレバ宜モ、一ツ現在デモ自治體ニサウ云フコトヲヤラセテ貰ハナケレバ斯ウ云フ特別會計ノ機關ハ成立タナイ、斯ウ云フ特別會計ノ關ニ於テハヤラシテ戴イテ宜イト思ヒマスガ、若シ調整法ニ於テ統制シテ行カレルニ於テハ、尙ホ更民間會社同様ニ、斯ウ云フ營利ノコトモ公共ノ施設一點張リデナク、附隨機關タルスウ云フモノヲ許可サレテ宜イト思ヒマスガ、ドウ云フ御考デアリマスガ出來ルカドウカト云フ點デアリマスガ、吾々ノ解釋ト致シマシテハ公益上ノ必要ガアリマスル場合ニハ差支ナイト思ヒマス、而シテ是ハ獨リ交通事業ノミナラズ、他ノ事業ニ於キマシテモ左様ナ解釋ヲ執ツテ居ルノデアリマス、隨テ例ヘバツノ例ヲ申

シマスト、先般岩手縣ガ岩手殖產銀行ノ株ヲ救フ爲ニ縣ガ或ル程度ノ株ヲ持ツテ銀行ヲ立直ス必要ガアリマシタカラヤッタノデアリマス、斯ウ云フ先例モアリマス、唯ト云フコトダケハ御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス

○深澤委員 モウ一點御伺致シタイノハ、
自治體ト云フモノハ非常ニ不便デアリマシテ、内務省ノ許可ヲ得ナケレバ何事モ出來ヌノデスガ、ドウシテモ許可ヲ得ラレナイデ到頭東京市ガ手放シタノガ今ヤッテ居リマスカ、仕事自體ハ自治體ガヤレバ宜モ、一ツ現在デモ自治體ニサウ云フコトヲヤラセテ貰ハナケレバ斯ウ云フ特別會計ノ機關ハ成立タナイ、斯ウ云フ特別會計ノ機関ニ於テハヤラシテ戴イテ宜イト思ヒマスガ、若シ調整法ニ於テ統制シテ行カレルニ於テハ、尙ホ更民間會社同様ニ、斯ウ云フ營利ノコトモ公共ノ施設一點張リデナク、附隨機關タルスウ云フモノヲ許可サレテ宜イト思ヒマスガ、ドウ云フ御考デアリマスガ、若シ調整法ニ於テ統制シテ行カレルニ於テハ、尙ホ更民間會社同様ニ、斯ウ云フ營利ノコトモ公共ノ施設一點張リデナク、附隨機關タルスウ云フモノヲ許可サレテ宜イト思ヒマスガ、ドウ云フ御考デアリマス

○勝田政府委員 深澤君ノ第二點ノ御質問ニ對シテ御答致シマス、公共團體ガ斯ウ云フヤウナ種類ノ株式會社ノ株主ニナルコトガ出來ルカドウカト云フ點デアリマスガ、吾々ノ解釋ト致シマシテハ公益上ノ必要ガアリマスル場合ニハ差支ナイト思ヒマス、而シテ是ハ獨リ交通事業ノミナラズ、他ノ事業ニ於キマシテモ左様ナ解釋ヲ執ツテ居ルノデアリマス、隨テ例ヘバツノ例ヲ申

シマスト、先般岩手縣ガ岩手殖產銀行ノ株ヲ救フ爲ニ縣ガ或ル程度ノ株ヲ持ツテ銀行ヲ立直ス必要ガアリカト云フコトニ付キマスハ已ムヲ得ナインデスガ、サウ云フヤウナコトモ今度ハ是ガ自治體トシテデナシテ立直ス必要ガアリマシタカラヤッタノデアリマス、斯ウ云フコトダケハ御承知ヲ願ヒタイト思ヒマスハ内務省ナドモドシ／＼大阪竝ニ民間デヤルト同様ニ許可サレル方針デアラウカ、是ガ内務省ト鐵道省ノ監督ガ嚴重デ許可サレナイト云フコトニナルト、事實上成立タナイ、之ヲ一ツ東京市ガ主體トナツ、是等ノ統制機關等ガ出來ル場合ニ於テ民間同様ノ取扱フ——私ハサウナラナイデスガ、ドウシテモ許可ヲ得ラレナイモ、一ツ現在デモ自治體ニサウ云フコトヲヤラセテ貰ハナケレバ斯ウ云フ特別會計ノ機關ハ成立タナイ、斯ウ云フ特別會計ノ機関ニ於テハヤラシテ戴イテ宜イト思ヒマスガ、若シ調整法ニ於テ統制シテ行カレルニ於テハ、尙ホ更民間會社同様ニ、斯ウ云フ營利ノコトモ公共ノ施設一點張リデナク、附隨機關タルスウ云フモノヲ許可サレテ宜イト思ヒマスガ、ドウ云フ御考デアリマスガ、若シ調整法ニ於テ統制シテ行カレルニ於テハ、尙ホ更民間會社同様ニ、斯ウ云フ營利ノコトモ公共ノ施設一點張リデナク、附隨機關タルスウ云フモノヲ許可サレテ宜イト思ヒマスガ、ドウ云フ御考デアリマスガ、若シ調整法ニ於テ統制シテ行カレルニ於テハ、尙ホ更民間會社同様ニ、斯ウ云フ營利ノコトモ公共ノ施設一點張リデナク、附隨機關タルスウ云フモノヲ許可サレテ宜イト思ヒマスガ、ドウ云フ御考デアリマス

○勝田政府委員 公共團體ノ企業、是ハ相當「デリケート」ナ問題デゴザイマス、大體私先程申上げマシタ公益上必要アル場合ハ

宜イ、斯ウ云フ抽象的ナ御答ヲセザルヲ得ナイノデアリマス、然ラバ此事業ガ公益上

ノ必要ガアルカナイカト云フコトニ付キマシテハ、具體的ニ其事業ノ性質、ソレヲヤル場合ノ有ユル環境、狀況ト云フモノニ依ツテ、私ハ公益上ノ必要ノ有無ガ判断サレル場合ノ御設例ノ地下鐵ト云フヤウナコトデゴ只今御設例ノ地下鐵ト云フヤウナコトデゴノデハナイカ、斯様ニ考ヘルノデアリマス、

シテハナリカ、斯様ニ考ヘルノデアリマス、

ハ具體的ノ場合ニ於キマシテ、具體的ニ決定セラルベキモノデアル、斯様ニ考ヘテ居リマス、是レ以上私ハ茲デ申上ゲルコトハ出來ナイノデゴザイマス、兎ニ角抽象的ノコトニ付キマシテハ、先程繰返シテ申シマシタ自治體ノ本義ニ鑑ミマシテ、公益上ノ必要ト云フ所デ限界ガアルノデアリマス、斯様ニ考ヘテ居リマス

○深澤委員 サウナルト、自治體ハ地下鐵ヲ經營出來ナイト云フ結論ニナリマシテ、其爲ニ手放シタノデアリマスガ、是ガ調整法デ統制サレタ民間會社ト合併シテ會社ニスルカ、或ハ委託ヲ受ケテ統制機關ガ出來ハレズニ、他ノ民間會社ガヤッテ居ルヤウナ附帶事業ハヤッテ宜イノカト云フ點ヲ御伺致シタイ

○勝田政府委員 附帶事業ト申シマスカ、兼營ト申シマスルカ、只今御設例ノ交通事業ト、「デパート」ノ例ヲ取ッテ申シマスト、ドチラニナリマスカ、相當難カシイ問題ニナルト思ヒマスガ、サウ云フコトヲドウ云フ風ニ解スルカト云フコトハ、此法律ノ中デモハッキリ決メテハ居ラヌノデアリマス、カト云フコトハ決メテ居ラヌノデアリマス、併ナガラ或ル公共團體ノ仕事ガ株式會社ノ方ニ吸收サレ、其關係上株ヲ持ツト云フ場合ハ、公益性ノ相當分量ノ問題ニマダ入ッテ來ルノデハナイカト考ヘマスノデ、電車ノヤウナ場合、電車トカ「バス」トカ公益性ノ非常ニ大キナ仕事ヲヤッテ居リマシテ、極ク小部分ガ公益性ガヨリ少ク、而モソレガ調整法ニ依ッテ統制セラレテ居ルト云フ場合ニ於テハ株券ヲ持ツテモ差支ナイ、斯様ニ考ヘト合併セシメテ一つノ會社ガ出來上ッタ場合ハ果シテ合流スペキカ、分離シテ經營ス

ニ經營ヲ委託シタ場合、或ハ他ノ會社ノ經營シテ居ルモノヲ自治體ガ委託ヲ受ケテ經營スル場合ガ想像サレマスガ、ソレ等ノ場合ノ何レニ於テモ、斯ウ云フヤウナ附帶事業ヲヤッテ差支ナイカト云フコトヲ伺ヒタイノデアリマス

○深澤委員 東京市、大阪市ノ自治體ノ意見ト致シマシテハ、實ハ私共何レ一二日ノ間關係市會議員或ハ代議士ガ寄リマシテ、ナイデ當局ニ御伺シタイト思ヒマス、本日業ト、「デパート」ノ例ヲ取ッテ申シマスト、ドチラニナリマスカ、相當難カシイ問題ニナルト思ヒマスガ、サウ云フコトヲドウ云フ風ニ解スルカト云フコトハ、此法律ノ中デモハッキリ決メテハ居ラヌノデアリマス、カト云フコトハ決メテ居ラヌノデアリマス、併ナガラ或ル公共團體ノ仕事ガ株式會社ノ方ヲ開發シ、土地經營ヲヤッテ、此經營ニ依ッテ得マシタ收入デ、會社ノ他ノ方面ノ減損ヲ補ツテ居ル、或ハ「デパート」ヲヤッテ居ル、或ハ京成何々ト云フ藥屋マダヤッテ居ル、或ハ京成「タオル」トカ何トカ云フ物マダ作ツヤッテ居ル、ソレガ非常ニ財源ニナッテ居ルト云フ狀態ニアリマス、地下街ヲ造ルコトモアルシ、宿屋ヲ經營スルコトモアルシ、「デパート」ハ今出來ナイト致シマシテモ、「デパート」以外ニ附屬ノ仕事ヲ澤山ヤッテ居ル、サウ云フ事業ヲヤッテ居ル者ガ大阪デ一番目立ツノデアリマスガ、東京デモ少クナイト思ヒマスカラ、斯ウ云フモノガ出來マシテモ——ソレヲヤラナケレバ實ハ成立ツテ

ベキカ、手放スカト云フコトハ其一々ニ付テ決定シナケレバナラヌ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○深澤委員 自治體ガ交通機關ヲ他ノ會社合併セシメテ一つノ會社ガ出來上ッタ場合ニ於テハ株券ヲ持ツテモ差支ナイ、斯様ニ考ヘト合併セシメテ一つノ會社ガ出來上ッタ場合ハ果シテ合流スペキカ、分離シテ經營ス

行ケナイト云フヤウナ狀勢デアリマスカラ、若シ調整機關ガ出來テ、自治體ガ參加シタ場合ニ於テモ、獨リ公益ニ限定セラレズニ、此公益機關ノ附屬建物中ニ斯様ナモノガ行ハレ、或ハ持ツテ居リマス附屬ノ土地ニ對シテ、斯様ナコトガ行ハレルト云フヤウナコトニ對シマシテハ、方針ヲ御決メ下サツテ、相當マデノ附帶事業ヲヤッテ宜イト云フ、現在許サレテ居ルモノハヤッテ宜イト云フ風ニ御研究ヲシテ下サレバ結構ダト思ヒマス、カナイデモ宜シイノデアリマス、京成電車は本日答辯ヲ載カナイデモ宜シウゴザイマス、私ハ本日ハ之ヲ以テ終リマス

○永江委員 私ハ極ク簡単ニ鐵道大臣ニ御伺シテ見タイノデアリマス、最初ハ本陸上交通事業調整法ヲ政府ガ御提出ニナリマシタ根本ノ方針ト申シマスト、大キク聞エマスガ、ソレヲ第一ニ伺ツテ見タイ、ソレハ昨今非常ニ統制流行デアリマシテ、先程モドナタカ御質問ニナッタヤウニ、統制ガ流行ルカラト云フコトデ、莫然ト御出シニナックトハ私共考ヘテ居ラナイノデアリマス、ソレデ本法ヲ御提出ニナリマスニ付テヘ、私共ノ考ヘル所ニ依リマスト、寧ロ本法案ノ提出ハ其ノ提出ノ時機ガ遅キニ失シタトサヘ考ヘルノデアリマス、先程論議ニナリマシタ交通省ノ如キモ、將來ハ必ズ交通省

ト云フ——名稱ハドウナルカ分リマセヌガ、サウ云フモノガ現レテ來ルト存ジテ居リマスノデ、鐵道大臣ハサウ云フ意味カラ私ノ質問ニ對シマシテハ、交通全般ノ立前ニ於キマシテ、今議會デ電力ノ國家管理ガ論議セラレテ居ル時ニ、既ニ色々ナ角度カラ其主義ト申シマセウカ、方針ト云フモノガ討議サレマシタヤウニ、國家ノ交通產業ト云フモノハ非常ニ重要ナ產業デアリマシテ、之ニ對シテ或ル種ノ統制ヲ加ヘル、斯ウ云フ案ハ結構デアリマスガ、鐵道大臣ハ現在ノ所此統制ト云フコトハ、本法ニ依リマスレバ、或ル場合ニハ株式會社等ニ於テ統制或ハ調整ノ實ヲ擧ゲヨウトスル御趣旨ノヤウニ拜見出來ルノデアリマスルガ、既ニ

國家トシテモ總體的ニ見テ資本、資材等ノ浪費カラ不經濟デアル、此三點ヲ除去シテ、經營スル事業者及ビ之ヲ利用スル一般民衆ノ便益ヲ圖ルト同時ニ、國家ノ不經濟ヲ除去スルト云フコトガ根本ノ方針デアルノデアリマス、唯ソレダケノコトガ此目的アリマシテ、此調整法ト關聯致シマシテ、國家ガ國有鐵道以外ノ交通事業ヲ國營トルスト云フヤウナ考ハ現在ノ所持ッテ居リマセヌ、又此調整法ノ終局ノ目的ヲ、自治體ニ經營セシムルト云フ所ニ持ッテ行クト云フ考モナイノデアリマス、唯單ニ事業者、一般民衆、國家的ノ浪費ヲ除去シテ、其便益ヲ圖ルト云フ所ニ目的ヲ置イテ居ルヤウナ次第アリマス

○永江委員 重ネテ御伺致シマスガ、現在將來鐵道以外ノ交通事業ヲ國營ニスル、或ハ國營ト行カナクトモ、地方ノ自治體ニ之ヲ經營セシムルト云フ、サウ云フ方針ノ下リマスカ、其限度ヲ一應御伺シテ見タイ

○中島國務大臣 本法案提出ノ根本方針ハ、最前カラ度々申上ゲマシタ通り、地方々々ニ於テ交通事業ガ非常ニ竝立、重複シ、激烈ナル競争下ニアルガ爲ニ、事業經營者及び一般民衆等ガ非常ナ不利不便ヲ感ジテ居

ル、國家トシテモ總體的ニ見テ資本、資材等ノ浪費カラ不經濟デアル、此三點ヲ除去シテ、經營スル事業者及ビ之ヲ利用スル一般民衆ノ便益ヲ圖ルト同時ニ、國家ノ不經濟ヲ除去スルト云フコトガ根本ノ方針デアルノデアリマス、唯ソレダケノコトガ此目的アリマシテ、此調整法ト關聯致シマシテ、國家ガ國有鐵道以外ノ交通事業ヲ國營トルスト云フヤウナ考ハ現在ノ所持ッテ居リマセヌ、又此調整法ノ終局ノ目的ヲ、自治體ニ經營セシムルト云フ所ニ持ッテ行クト云フ考モナイノデアリマス、唯單ニ事業者、一般民衆、國家的ノ浪費ヲ除去シテ、其便益ヲ圖ルト云フ所ニ目的ヲ置イテ居ルヤウナ次第アリマス

○永江委員 重ネテ御伺致シマスガ、現在國家ハ鐵道ヲ國營ニシテ居ルノデアリマス、國家ガ鐵道ヲ國營ニ致シテ居リマスガ、是ハ何等差支ガナイ、寧ロ各角度カラ見マシテ鐵道ノ國營ト云フモノハ非常ニ妥當ニ經營セシムルト云フ、サウ云フ方針ノ下リマスカ、其限度ヲ一應御伺シテ見タイ

○中島國務大臣 本法案提出ノ根本方針ハ、最前カラ度々申上ゲマシタ通り、地方々々ニ於テ交通事業ガ非常ニ竝立、重複シ、激烈ナル競争下ニアルガ爲ニ、事業經營者及び一般民衆等ガ非常ナ不利不便ヲ感ジテ居

ル、國家トシテモ總體的ニ見テ資本、資材等ノ浪費カラ不經濟デアル、此三點ヲ除去シテ、經營スル事業者及ビ之ヲ利用スル一般民衆ノ便益ヲ圖ルト同時ニ、國家ノ不經濟ヲ除去スルト云フコトガ根本ノ方針デアルノデアリマス、唯ソレダケノコトガ此目的アリマシテ、此調整法ト關聯致シマシテ、國家ガ國有鐵道以外ノ交通事業ヲ國營トルスト云フヤウナ考ハ現在ノ所持ッテ居リマセヌ、又此調整法ノ終局ノ目的ヲ、自治體ニ經營セシムルト云フ所ニ持ッテ行クト云フ考モナイノデアリマス、唯單ニ事業者、一般民衆、國家的ノ浪費ヲ除去シテ、其便益ヲ圖ルト云フ所ニ目的ヲ置イテ居ルヤウナ次第アリマス

○永江委員 重ネテ御伺致シマスガ、現在國家ガ鐵道ヲ國營ニ致シテ居リマスガ、是ハ何等差支ガナイ、寧ロ各角度カラ見マシテ鐵道ノ國營ト云フモノハ非常ニ妥當ニ經營セシムルト云フ、サウ云フ方針ノ下リマスカ、其限度ヲ一應御伺シテ見タイ

○中島國務大臣 本法案提出ノ根本方針ハ、最前カラ度々申上ゲマシタ通り、地方々々ニ於テ交通事業ガ非常ニ竝立、重複シ、激烈ナル競争下ニアルガ爲ニ、事業經營者及び一般民衆等ガ非常ナ不利不便ヲ感ジテ居

ル、國家トシテモ總體的ニ見テ資本、資材等ノ浪費カラ不經濟デアル、此三點ヲ除去スルト云フコトガ根本ノ方針デアルノデアリマス、唯ソレダケノコトガ此目的アリマシテ、此調整法ト關聯致シマシテ、國家ガ國有鐵道以外ノ交通事業ヲ國營トルスト云フヤウナ考ハ現在ノ所持ッテ居リマセヌ、又此調整法ノ終局ノ目的ヲ、自治體ニ經營セシムルト云フ所ニ持ッテ行クト云フ考モナイノデアリマス、唯單ニ事業者、一般民衆、國家的ノ浪費ヲ除去シテ、其便益ヲ圖ルト云フ所ニ目的ヲ置イテ居ルヤウナ次第アリマス

○永江委員 私共ハ本法案ハ形ハ多少異

テ居リマスルケレドモ、本議會ニ現レマシ

ト大差ナイ線ニ沿ウテ、斯様ノ法案ガ提出サレタ方針
サレルニ至ツタモノデアル、斯ウ云フ見解ヲ
持ツテ居ルノデアリマス、隨テ只今ノ大臣ノ
御答辯ハ、若干其點ニ付テハ明瞭ヲ缺イテ
居ルヤウニ思フノデアリマス、是レ以上ハ
議論ニナリマスノデ、私ハ止メマスガ、從
來統制ノ意味ヲ含マセタ所ノ案ガ提案サレ
ルト、議會ニ於キマシテハ屢々言葉ハ違ツテ
居リマシテモ、民業壓迫ト云フヤウナ立前
カラ盛ニ論難サレテ參ツテ居ルノデアリマ
ス、併シ昨今ノ空氣カラ申シマシテモ、假
令營利經濟デアリマシテモ、國家的必要ノ
前ニハ之ニ修正ヲ加ヘ、妥當ナル壓迫ヲ加
ヘテ行ク、斯ウ云フコトハ近衛内閣ノ屢々ノ
御聲明ニ依ツテモ是認サレテ居ルヤウニ私
共ハ取ツテ居ルノデアリマス、サウ致シ
マスト、今大臣ノ御答辯ニアリマシタヤ
ウニ、鐵道ノ國營ハ國家的ノ必要カラ利害
ヲ離レテヤラナケレバナラナイ場合ガア
ル、併シ其他自動車ニ致シマシテモ、軌道
ニ致シマシテモ、是ハ地方ノコトデアルト
云フヤウナ常識的ナ考ヘ方デハ、將來非常
ニ此方針ノ上ニ明瞭ヲ缺ク點ガ出テ來ルト
思ツテ居ルノデアリマス、私ガ今御尋致シマ
シタ點ニ於テ、國營ト云フコトダケデ大臣

ハ御答辯ニナリマシタケレドモ、私ノ申上
ゲマシタモウ一ツノ點ハ、國營デナクトモ、
地方ノ自治體ニ府縣ヲ單位ト致シマスルカ、
或ハ六大都市ヲ單位ト致シマスルカ、斯ウ
云フモノニ調整ラスルト云フ將來ノ方針デ
之ヲ御出シニナツカト云フコトニ付テ、モ
ウ一度御説明ヲ願ヒタイ

スル意味ニ於テ、國營ニ對スル私ノ信念ヲ
一應申上ゲマスレバ、私ハ國民ト云フモノ
ハ國家ノ貴重ナル構成分子デアッテ、國家ニ
所屬スルモノノ中最モ貴重ナルモノハ國民
デアル、隨テ國民ガ國家ニ所屬スル以上、
國民ノ行フ事業ハ一切是レ國營ナリト云フ
信念ニ立ツテ居ルノデアリマス、隨テ其國營

スル、サウシテ國家的必要カラ大事業ヲ遂行スルト云フコトニ付テ、私利私慾ヲ表面ニ現ハシ、憲法ノ陰ニ隠レテ、往々ニシテ國家的ナ事業ノ遂行ヲ阻碍スル所ノ現状維持ノ勢力ガ議會ノ内ニアル、幸ヒ鐵道大臣ハ政黨出身者デアリマス、此點カラ今明瞭ニ仰シャツタヤウナ大乘的ナ國營論ト云フモノ

○中島國務大臣 東京、大阪等ノ都市ニ於ケル交通事業ヲ調整スルノガ目的カ、自治體ニ之ヲ行ハシムル方針カト云フコトデアリマシタガ、其方針モ定シテハ居ラヌノデアリマス、其地區々々ニ於テ最モ善キ方法ヲ、自治體ト自治體以外ノ業者ト相談ラシテ、最モ善キ方法ヲ採ラセルコトガ最モ善イコトデアラウト考ヘテ居ルノデアリマス、其結果或ハ自治體ガヤルヤウニナルカモ知レマセヌガ、或ハサウデナクナル場合モアルカモ知レマセヌ、何レニシテモ能ク相談シタ結果、最モ適當ナリトスル方法ニ進マセタイ、若シモソコデ決シナイ場合ニハ委員會ノ意見ヲ徵シテ之ヲ、決スルト云フコトニナッテ居ルノデアリマシテ、一定ノ方針ヲ以テ進ンデ居ルノデハナイノデアリマス、尙ホ此國營ト云フコトニ關シテ、或ハ私ノ言ウテ居ルコトガ御考ト副ハナイ所ガアルカモ知リマスノハ、憲法論ヲ振翳シテ所有權ヲ云々

○永江委員 私ハ鐵道大臣ノ非常ニ立派ナル鐵道ノ如キモノハ官ガヤル方ガ、其敷設ノ上ニ急速ニ實行シ得テ便利デアルト云フ考ニ立ツテ居ルノデアリマス

○永江委員 私ハ鐵道大臣ノ非常ニ立派ナル鐵道ノ如キモノハ官ガヤル方ガ、其敷設ノ上ニ急速ニ實行シ得テ便利デアルト云フ考ニ立ツテ居ルノデアリマス、唯國營ト云フコトハ色々ナ角度カラマス、問題ニナリマス、議會ナドデ一番問題ニナ

ヲ、唯此議場ダケデナシニ、將來ノ國策遂行ノ上ニドシヽ表示シテ戴キタイ、斯様ニ私ハ考ヘルノデアリマス
次ニ今御話ニナリマシタヤウニ、此法案ニ依リマシテ公共事業ト營利會社トガ合併或ハ共同經營其他ノ問題ヲ起シマシタ場合ニ、適當ニ善處スルト云フ御趣旨ハ分ルノデアリマスガ、今ハサウ云フ傾向ハアリマセヌケレドモ、過去ニ於キマシテ大都市ナドデハ其都市ガ「アスファルト」ヲ敷キマシタ道路ニ、民間ノ營利會社ノ「バス」ヲ許可スルナドト云フコトヲ屢々吾々へ見テ居ル、サウ云フヤウナ不都合ナ許可認可制度ト云フモノガアッタ、昨今ハサウ云フ傾向ハアリマセヌガ、特ニ政黨内閣華ヤカナル當時ニ於キマシテハ、斯ウ云フ不都合ナコトヲ屢々繰返サレテ來テ居ル例ガアル、ソコデ私ハ此公共團體ト民間ノ營利會社デ、一つノ事業ヲ

題ガ起キタ時ニ、之ニ最後ノ決定ヲ與ヘマ
スモノハ、此交通事業調整委員會アルト
存ジテ居リマスガ、サウ考ヘテ間違ナイノ
デアリマスカ

○中島國務大臣 最前モ申シマシタ通り、
先ヅ此調整法ヲ勵カセル順序ハ、大體何レ
ノ地區ヲ調整スベキカト云フコトヲ調整委
員會ニ諸リマシテ、例ヘバ東京ナラ東京ヲ
先ヅヤル必要ガアルト調整委員會ノ議ガ決
マリマシタナラバ、主務大臣ガ東京地區ニ
對シテ調整ヲスルコトヲ命ズルノデアリマ
ス、其次ニハ東京ニ於ケル色々ノ命ゼラレ
タル交通事業者ガ如何ニ調整シ、如何ニシ
ヨウカト云フコトヲ相互ノ間ニ協議シテ、
調整ヲ自ラ行フト云フノガ本旨ナノデアリ
マス、大體今日ノ所デハ各交通事業者モ調
整ノ必要ヲ痛感シテ、屢々鐵道省其他ニ陳情
ラシテ來テ居ルヤウナ次第デ、機運ガ熱シ
ト云フ一石ガ茲ニ投ゼラレルナラバ、自發
的ニ大體調整ガ相互ノ間ニ行ハレルモノト
考ヘテ居ルノデアリマス、若シモ相互ノ間
ニ議ガ纏マラナイ場合ニハ、調整委員會ニ
メテ練ツタ案ニ依リマシテ、主務大臣ガ其裁
定ヲ致スト云フ順序ニナルノデアリマス

○永江委員 サウ致シマスト此交通事業調
整委員會ト云フモノハ、申ス迄モナク主務
大臣ノ一つノ諸問題機關アル、斯様ニ解釋
ヲシテ居リマス、更ニ私ハ鐵道大臣ノ御意
綱ヲ承ツテ置キタイノハ、公共事業ト營利會
社ガ互ニ本案ニ依ツテハ協調スルコトガ出
來ナイ、サウ云フヤウナ場合ニ、主務大臣
ハ、此爭ニ對シテドチラ側ニモ附カズニ、
公平ニ處斷ラサレルト云フコトガ妥當ナコ
トデアルト私ハ考ヘテ居リマスガ、私ガ第
一點トシテ御尋致シマシタヤウニ、自治團
體、公共團體ト營利會社トガ此法案ヲ繕ツテ
争フ起シマシタ場合ニハ、主務大臣ハサウ
斷ヲ下サル方針ハナイノデアルカ、此點ヲ
伺ヒマス

○中島國務大臣 此調整委員會ハ實ハ内閣
ニ直屬スルノデアリマシテ、内閣總理大臣
ノ隸屬機關トナルノデアリマス、只今ノ公
共團體ト私立營業者トノ間ニ協定ガ纏マラ
ズシテ、常ニ委員會ノ議ヲ經テ裁定スルト
云フコトニナリマシタ場合ニハ、主務大臣
トシテハヤハリ初メカラドウト云フコトニ
スガ、是レ以上ハ意見ニナリマスノデ、此
程度ニ致シテ置キマス

○永江委員 其點ガ私ノ第一點トシテ根本
方針ヲ御尋シタ點ニアリマスガ、是レ以上
ヲシテ居リマス、更ニ私ハ鐵道大臣ノ御意
マス、サウ致シマスト交通事業調整委員會
ノ構成ガ非常ニ問題ニナル譯デアリマス、
先程御説明ニナリマシタ所ニ依リマスト、
權威者ト貴衆兩院議員ヲ以テ大體構成スル
ト云フ御趣旨ノヤウデアリマスガ、此權威
者ト云フ範疇ガ非常ニ難カシイノデアリマ
ス、或ハ此委員會ノ中ニハ、往々政府デ持チ
利會社ノ交通事業會社ノ者モ加ヘル御趣旨
マシタ色々ナ委員會ニアリマスヤウニ、營
利會社ノ交通事業會社ノ者モ加ヘル御趣旨
デアリマスカ、此點ヲ一寸伺ツテ置キマス

○中島國務大臣 大體委員會ノ構成ハ貴衆
兩院議員、學識經驗アル者、ソレカラ關係
各廳ノ官吏、ソレカラ地方ニ於ケル其事業
ニ經驗アル者等ヲ網羅シテ行キタイト考ヘ
ルノデアリマスガ、例ヘバ東京ニ於テヤル
場合ヲ想像シマスト、東京ノ地區ニ於ケル
事業ニ携ツテ居ル者ハ經驗ガアッテモ或ハ其
地區ニ於ケル調整ノ場合ニハ入ラナイト云
フヤウナコトニナルカモ知レマセヌ、隨テ
地方ニ於ケル經驗者ト云フヤウナモノハ、
临时委員トシテ採ルト云フ方針デアリマス

レニナルカドウカ御伺シマス

○中島國務大臣 調整ニ掛ル——詰リ調整
法ヲ發動サレタ其地區ノ當該營業者ハ、其
中ニハ入ツテ來ナイト考ヘマス、唯他ノ地
方トシテ入ツテ、其意見ヲ聽ク場合ガアラウ
ト考ヘテ居リマス

○永江委員 其點ガ私ノ第一點トシテ根本
方針ヲ御尋シタ點ニアリマスガ、是レ以上
ノデアリマスカラ、本委員會ニ於テ大體意見ヲ纏メ
タヤウニ、本委員會ニ於テ大體意見ヲ纏メ
テ、ソレニ依ツテ主務大臣ガ裁斷ヲ下サレル
ノデアリマスカラ、本委員會ノ構成ハ非常
ニ重要ナモノデアリマス、隨テ私共ノ希望
トイ云フコトガ、此委員會ヲ最モ公正ナ決
定ヲ爲サシメル所以デアルト考ヘテ居リマ
スガ、是レ以上ハ意見ニナリマスノデ、此
程度ニ致シテ置キマス

最後ニ私ガ極ク簡單ニ關聯シマシテ御尋
シテ置キタイノハ、先程ドナタカ御尋ニナ
リマシタ本法施行ノ結果犠牲ニナルモノニ
付キマシテハ、業者ノ方面ニ對シマシテハ
本調整法ノ第十條ニ、政府ノ裁定ニ不服ア
ル際ハ、裁判所ニ出訴スルコトヲ得ト云フ
コトガ明記サレテ居リマス、所ガ大體事業
會社ノ合併其他ニ依リマシテ犠牲ニナル從

業者、先程ドナタカ御質問ニナリマシタヤ
ウニ、「ガソリン」ノ節約ニ依ッテ犠牲ニナ
ル所ノ從業員ガアルガ、本法案ニ依リマス
ト、何レノ法規ノ中ニモ、從業員ガ犠牲ニ
ナッタ場合ニ、之ニ對シテドウスルト云フ
コトが明示サレテ居リマセヌガ、此點ハ當
局ハ如何ニ御考ニナリマスカ

○中島國務大臣 此調整法ニ依リマスト、
現在事業者ガ非常ニ苦痛ヲ感ジテ居ル諸般
ノ弊害ガ除去サレルノデアリマシテ、事業
者其モノハ寧ロ調整法ガ行ハレタ結果好
クナッテ來ルノデアリマス、現在ノ所ハ或ル
狭イ地區ニ色々ノモノガ併立競争シテ居ツ
テ、其競爭ハ唯營利的觀念バカリデナク、
色々ナ行掛カリ上、感情カラモ無理ニ競争
ラシテ居ルト云フヤウナ有様デアリマシテ、
ソコニ集中シテ居ツテ他ニ又伸ブベキ所、又
人ガ必要トル所ニ對シテモ、一向進出シ
得ナイヤウナ有様ニナッテ居ルノデアリマ
ス、隨テ一地區ニ於ケル調整ガ行ハレテ、
ソレ等ノ弊害ガ取去ラレマスト、事業者ハ
大シテ行ケルト云フヤウナコトニナリマス
カラ、從業者モ調整ノ結果、色々ノ害ヲ蒙
ムルト云フヤウナコトハナカラウト考ヘテ
居ルノデアリマス、寧ロ優遇ノ意味ヲ爲ス

ノデハナイカト云フ風ニ考ヘテ居リマスガ、
若シモサウ云フヤウナコトガ生ズル場合ニ
ハ十分考慮シテ行キタイ、斯ウ考ヘテ居リ
マス

○永江委員 最後ニ關聯シテ居リマスカラ、
一點ダケ鐵道大臣ニ御伺致シマス、今私ハ
國營ニ關スルコトデ色々御方針ヲ承ッタノデ
アリマスガ、鐵道省ハ昭和初年ノ不況以來
昭和七年ニ至ルマデ、非常ニ鐵道省トシテ
ハ好況ヲ迎ヘテ居リマシテ、是ハ又國家ノ
上カラ申シマシテモ同慶ニ考ヘテ居ルノデ
アリマスガ、此鐵道省ノ收益ト云フヤウナ
モノハ、一々數字ヲ讀ミマスト時間ガ掛ル
ノデ止メマスケレドモ、相當上ツテ居ル、然
ルニ鐵道省ノ從業員ノ待遇ヲ統計ニ依ッテ見
マスト、一人當リノ平均ノ給與ハ、昭和七
年度ニ於キマシテハ勅任官ガ四〇〇・二五
圓、判任官ガ八八・七八圓、雇員ガ五六・七
九圓、傭人ガ四七・六二圓、斯ウナッテ居リ
マスガ、翌々年ノ昭和九年ノ比例カラ申シ
マスト、勅任官ガ四〇〇・二五圓カラ四〇三・
一六圓ニナッテ居ル、而モ雇員ハ昭和七年度
ニ五六・七九圓ガ、昭和九年度即チ收益ガ段
段ト上ツテ參ルノニ逆比例致シマシテ、雇員
ハ五六・七四圓、傭人ハ四七・六二圓カラ四
五・九五圓ト、勅任官級ガ上向線ヲ辿ッテ居

ルニ拘ラズ、雇員、傭人級ハ逆ニナッテ居ル
ノデアリマス、斯ウ云フ數字ヲ見マシテモ、
大體鐵道省ノ關係職員數方約二十萬人ヲ數
マス

○永江委員 最後ニ關聯シテ居リマスカラ、
一點ダケ鐵道大臣ニ御伺致シマス、今私ハ
國營ニ關スルコトデ色々御方針ヲ承ッタノデ
アリマスガ、此鐵道省ノ收益ト云フヤウナ
モノハ、一々數字ヲ讀ミマスト時間ガ掛ル
ノデ止メマスケレドモ、相當上ツテ居ル、然
ルニ鐵道省ノ從業員ノ待遇ヲ統計ニ依ッテ見
マスト、一人當リノ平均ノ給與ハ、昭和七
年度ニ於キマシテハ勅任官ガ四〇〇・二五
圓、判任官ガ八八・七八圓、雇員ガ五六・七
九圓、傭人ガ四七・六二圓、斯ウナッテ居リ
マスガ、翌々年ノ昭和九年ノ比例カラ申シ
マスト、勅任官ガ四〇〇・二五圓カラ四〇三・
一六圓ニナッテ居ル、而モ雇員ハ昭和七年度
ニ五六・七九圓ガ、昭和九年度即チ收益ガ段
段ト上ツテ參ルノニ逆比例致シマシテ、雇員
ハ五六・七四圓、傭人ハ四七・六二圓カラ四
五・九五圓ト、勅任官級ガ上向線ヲ辿ッテ居

ルニ拘ラズ、雇員、傭人級ハ逆ニナッテ居ル
ノデアリマス、斯ウ云フ數字ヲ見マシテモ、
大體鐵道省ノ關係職員數方約二十萬人ヲ數
マス

○永江委員 最後ニ關聯シテ居リマスカラ、
一點ダケ鐵道大臣ニ御伺致シマス、今私ハ
國營ニ關スルコトデ色々御方針ヲ承ッタノデ
アリマスガ、此鐵道省ノ收益ト云フヤウナ
モノハ、一々數字ヲ讀ミマスト時間ガ掛ル
ノデ止メマスケレドモ、相當上ツテ居ル、然
ルニ鐵道省ノ從業員ノ待遇ヲ統計ニ依ッテ見
マスト、一人當リノ平均ノ給與ハ、昭和七
年度ニ於キマシテハ勅任官ガ四〇〇・二五
圓、判任官ガ八八・七八圓、雇員ガ五六・七
九圓、傭人ガ四七・六二圓、斯ウナッテ居リ
マスガ、翌々年ノ昭和九年ノ比例カラ申シ
マスト、勅任官ガ四〇〇・二五圓カラ四〇三・
一六圓ニナッテ居ル、而モ雇員ハ昭和七年度
ニ五六・七九圓ガ、昭和九年度即チ收益ガ段
段ト上ツテ參ルノニ逆比例致シマシテ、雇員
ハ五六・七四圓、傭人ハ四七・六二圓カラ四
五・九五圓ト、勅任官級ガ上向線ヲ辿ッテ居

ルニ拘ラズ、雇員、傭人級ハ逆ニナッテ居ル
ノデアリマス、斯ウ云フ數字ヲ見マシテモ、
大體鐵道省ノ關係職員數方約二十萬人ヲ數
マス

○永江委員 最後ニ關聯シテ居リマスカラ、
一點ダケ鐵道大臣ニ御伺致シマス、今私ハ
國營ニ關スルコトデ色々御方針ヲ承ッタノデ
アリマスガ、此鐵道省ノ收益ト云フヤウナ
モノハ、一々數字ヲ讀ミマスト時間ガ掛ル
ノデ止メマスケレドモ、相當上ツテ居ル、然
ルニ鐵道省ノ從業員ノ待遇ヲ統計ニ依ッテ見
マスト、一人當リノ平均ノ給與ハ、昭和七
年度ニ於キマシテハ勅任官ガ四〇〇・二五
圓、判任官ガ八八・七八圓、雇員ガ五六・七
九圓、傭人ガ四七・六二圓、斯ウナッテ居リ
マスガ、翌々年ノ昭和九年ノ比例カラ申シ
マスト、勅任官ガ四〇〇・二五圓カラ四〇三・
一六圓ニナッテ居ル、而モ雇員ハ昭和七年度
ニ五六・七九圓ガ、昭和九年度即チ收益ガ段
段ト上ツテ參ルノニ逆比例致シマシテ、雇員
ハ五六・七四圓、傭人ハ四七・六二圓カラ四
五・九五圓ト、勅任官級ガ上向線ヲ辿ッテ居

ルニ拘ラズ、雇員、傭人級ハ逆ニナッテ居ル
ノデアリマス、斯ウ云フ數字ヲ見マシテモ、
大體鐵道省ノ關係職員數方約二十萬人ヲ數
マス

○永江委員 最後ニ關聯シテ居リマスカラ、
一點ダケ鐵道大臣ニ御伺致シマス、今私ハ
國營ニ關スルコトデ色々御方針ヲ承ッタノデ
アリマスガ、此鐵道省ノ收益ト云フヤウナ
モノハ、一々數字ヲ讀ミマスト時間ガ掛ル
ノデ止メマスケレドモ、相當上ツテ居ル、然
ルニ鐵道省ノ從業員ノ待遇ヲ統計ニ依ッテ見
マスト、一人當リノ平均ノ給與ハ、昭和七
年度ニ於キマシテハ勅任官ガ四〇〇・二五
圓、判任官ガ八八・七八圓、雇員ガ五六・七
九圓、傭人ガ四七・六二圓、斯ウナッテ居リ
マスガ、翌々年ノ昭和九年ノ比例カラ申シ
マスト、勅任官ガ四〇〇・二五圓カラ四〇三・
一六圓ニナッテ居ル、而モ雇員ハ昭和七年度
ニ五六・七九圓ガ、昭和九年度即チ收益ガ段
段ト上ツテ參ルノニ逆比例致シマシテ、雇員
ハ五六・七四圓、傭人ハ四七・六二圓カラ四
五・九五圓ト、勅任官級ガ上向線ヲ辿ッテ居

ルニ拘ラズ、雇員、傭人級ハ逆ニナッテ居ル
ノデアリマス、斯ウ云フ數字ヲ見マシテモ、
大體鐵道省ノ關係職員數方約二十萬人ヲ數
マス

○永江委員 最後ニ關聯シテ居リマスカラ、
一點ダケ鐵道大臣ニ御伺致シマス、今私ハ
國營ニ關スルコトデ色々御方針ヲ承ッタノデ
アリマスガ、此鐵道省ノ收益ト云フヤウナ
モノハ、一々數字ヲ讀ミマスト時間ガ掛ル
ノデ止メマスケレドモ、相當上ツテ居ル、然
ルニ鐵道省ノ從業員ノ待遇ヲ統計ニ依ッテ見
マスト、一人當リノ平均ノ給與ハ、昭和七
年度ニ於キマシテハ勅任官ガ四〇〇・二五
圓、判任官ガ八八・七八圓、雇員ガ五六・七
九圓、傭人ガ四七・六二圓、斯ウナッテ居リ
マスガ、翌々年ノ昭和九年ノ比例カラ申シ
マスト、勅任官ガ四〇〇・二五圓カラ四〇三・
一六圓ニナッテ居ル、而モ雇員ハ昭和七年度
ニ五六・七九圓ガ、昭和九年度即チ收益ガ段
段ト上ツテ參ルノニ逆比例致シマシテ、雇員
ハ五六・七四圓、傭人ハ四七・六二圓カラ四
五・九五圓ト、勅任官級ガ上向線ヲ辿ッテ居

ルニ拘ラズ、雇員、傭人級ハ逆ニナッテ居ル
ノデアリマス、斯ウ云フ數字ヲ見マシテモ、
大體鐵道省ノ關係職員數方約二十萬人ヲ數
マス

○永江委員 最後ニ關聯シテ居リマスカラ、
一點ダケ鐵道大臣ニ御伺致シマス、今私ハ
國營ニ關スルコトデ色々御方針ヲ承ッタノデ
アリマスガ、此鐵道省ノ收益ト云フヤウナ
モノハ、一々數字ヲ讀ミマスト時間ガ掛ル
ノデ止メマスケレドモ、相當上ツテ居ル、然
ルニ鐵道省ノ從業員ノ待遇ヲ統計ニ依ッテ見
マスト、一人當リノ平均ノ給與ハ、昭和七
年度ニ於キマシテハ勅任官ガ四〇〇・二五
圓、判任官ガ八八・七八圓、雇員ガ五六・七
九圓、傭人ガ四七・六二圓、斯ウナッテ居リ
マスガ、翌々年ノ昭和九年ノ比例カラ申シ
マスト、勅任官ガ四〇〇・二五圓カラ四〇三・
一六圓ニナッテ居ル、而モ雇員ハ昭和七年度
ニ五六・七九圓ガ、昭和九年度即チ收益ガ段
段ト上ツテ參ルノニ逆比例致シマシテ、雇員
ハ五六・七四圓、傭人ハ四七・六二圓カラ四
五・九五圓ト、勅任官級ガ上向線ヲ辿ッテ居

ルニ拘ラズ、雇員、傭人級ハ逆ニナッテ居ル
ノデアリマス、斯ウ云フ數字ヲ見マシテモ、
大體鐵道省ノ關係職員數方約二十萬人ヲ數
マス

○永江委員 最後ニ關聯シテ居リマスカラ、
一點ダケ鐵道大臣ニ御伺致シマス、今私ハ
國營ニ關スルコトデ色々御方針ヲ承ッタノデ
アリマスガ、此鐵道省ノ收益ト云フヤウナ
モノハ、一々數字ヲ讀ミマスト時間ガ掛ル
ノデ止メマスケレドモ、相當上ツテ居ル、然
ルニ鐵道省ノ從業員ノ待遇ヲ統計ニ依ッテ見
マスト、一人當リノ平均ノ給與ハ、昭和七
年度ニ於キマシテハ勅任官ガ四〇〇・二五
圓、判任官ガ八八・七八圓、雇員ガ五六・七
九圓、傭人ガ四七・六二圓、斯ウナッテ居リ
マスガ、翌々年ノ昭和九年ノ比例カラ申シ
マスト、勅任官ガ四〇〇・二五圓カラ四〇三・
一六圓ニナッテ居ル、而モ雇員ハ昭和七年度
ニ五六・七九圓ガ、昭和九年度即チ收益ガ段
段ト上ツテ參ルノニ逆比例致シマシテ、雇員
ハ五六・七四圓、傭人ハ四七・六二圓カラ四
五・九五圓ト、勅任官級ガ上向線ヲ辿ッテ居

ルニ拘ラズ、雇員、傭人級ハ逆ニナッテ居ル
ノデアリマス、斯ウ云フ數字ヲ見マシテモ、
大體鐵道省ノ關係職員數方約二十萬人ヲ數
マス

○永江委員 最後ニ關聯シテ居リマスカラ、
一點ダケ鐵道大臣ニ御伺致シマス、今私ハ
國營ニ關スルコトデ色々御方針ヲ承ッタノデ
アリマスガ、此鐵道省ノ收益ト云フヤウナ
モノハ、一々數字ヲ讀ミマスト時間ガ掛ル
ノデ止メマスケレドモ、相當上ツテ居ル、然
ルニ鐵道省ノ從業員ノ待遇ヲ統計ニ依ッテ見
マスト、一人當リノ平均ノ給與ハ、昭和七
年度ニ於キマシテハ勅任官ガ四〇〇・二五
圓、判任官ガ八八・七八圓、雇員ガ五六・七
九圓、傭人ガ四七・六二圓、斯ウナッテ居リ
マスガ、翌々年ノ昭和九年ノ比例カラ申シ
マスト、勅任官ガ四〇〇・二五圓カラ四〇三・
一六圓ニナッテ居ル、而モ雇員ハ昭和七年度
ニ五六・七九圓ガ、昭和九年度即チ收益ガ段
段ト上ツテ參ルノニ逆比例致シマシテ、雇員
ハ五六・七四圓、傭人ハ四七・六二圓カラ四
五・九五圓ト、勅任官級ガ上向線ヲ辿ッテ居

ルニ拘ラズ、雇員、傭人級ハ逆ニナッテ居ル
ノデアリマス、斯ウ云フ數字ヲ見マシテモ、
大體鐵道省ノ關係職員數方約二十萬人ヲ數
マス

○永江委員 最後ニ關聯シテ居リマスカラ、
一點ダケ鐵道大臣ニ御伺致シマス、今私ハ
國營ニ關スルコトデ色々御方針ヲ承ッタノデ
アリマスガ、此鐵道省ノ收益ト云フヤウナ
モノハ、一々數字ヲ讀ミマスト時間ガ掛ル
ノデ止メマスケレドモ、相當上ツテ居ル、然
ルニ鐵道省ノ從業員ノ待遇ヲ統計ニ依ッテ見
マスト、一人當リノ平均ノ給與ハ、昭和七
年度ニ於キマシテハ勅任官ガ四〇〇・二五
圓、判任官ガ八八・七八圓、雇員ガ五六・七
九圓、傭人ガ四七・六二圓、斯ウナッテ居リ
マスガ、翌々年ノ昭和九年ノ比例カラ申シ
マスト、勅任官ガ四〇〇・二五圓カラ四〇三・
一六圓ニナッテ居ル、而モ雇員ハ昭和七年度
ニ五六・七九圓ガ、昭和九年度即チ收益ガ段
段ト上ツテ參ルノニ逆比例致シマシテ、雇員
ハ五六・七四圓、傭人ハ四七・六二圓カラ四
五・九五圓ト、勅任官級ガ上向線ヲ辿ッテ居

ルニ拘ラズ、雇員、傭人級ハ逆ニナッテ居ル
ノデアリマス、斯ウ云フ數字ヲ見マシテモ、
大體鐵道省ノ關係職員數方約二十萬人ヲ數
マス

○永江委員 最後ニ關聯シテ居リマスカラ、
一點ダケ鐵道大臣ニ御伺致シマス、今私ハ
國營ニ關スルコトデ色々御方針ヲ承ッタノデ
アリマスガ、此鐵道省ノ收益ト云フヤウナ
モノハ、一々數字ヲ讀ミマスト時間ガ掛ル
ノデ止メマスケレドモ、相當上ツテ居ル、然
ルニ鐵道省ノ從業員ノ待遇ヲ統計ニ依ッテ見
マスト、一人當リノ平均ノ給與ハ、昭和七
年度ニ於キマシテハ勅任官ガ四〇〇・二五
圓、判任官ガ八八・七八圓、雇員ガ五六・七
九圓、傭人ガ四七・六二圓、斯ウナッテ居リ
マスガ、翌々年ノ昭和九年ノ比例カラ申シ
マスト、勅任官ガ四〇〇・二五圓カラ四〇三・
一六圓ニナッテ居ル、而モ雇員ハ昭和七年度
ニ五六・七九圓ガ、昭和九年度即チ收益ガ段
段ト上ツテ參ルノニ逆比例致シマシテ、雇員
ハ五六・七四圓、傭人ハ四七・六二圓カラ四
五・九五圓ト、勅任官級ガ上向線ヲ辿ッテ居

ルニ拘ラズ、雇員、傭人級ハ逆ニナッテ居ル
ノデアリマス、斯ウ云フ數字ヲ見マシテモ、
大體鐵道省ノ關係職員數方約二十萬人ヲ數
マス

方針ニ則ッテヤッタ方ガ宜シイヤウニ考ヘマスガ、如何デアリマスカ、御伺ヒシタイ、ソレト同時ニ、國營デ鐵道ヲヤル、然ラバ各自治體ニ於テ統制セシメルト云フヤウナコトモ私ハ宜イト思ヒマスガ、其點モウ一遍諒解ノ行クヤウニ願ヒタイト思ヒマス。

○中島國務大臣 方針トスル所ハ、要スルニ事業經營者、一般民衆ノ利便ヲ増進スルト云フコトガ方針ナノデアリマシテ、何レガ其方針ニ適フヤト云フコトハ、調整委員會等ノ衆智ヲ集メテ、公正ニヤッテ行カウト云フ考デアルノデアリマス。

○淺沼委員 條文ヲ色々讀ンデ參リマシテ、結果カラ申上ゲマスルナラバ、色々話合ヲヤツテ乗車運賃ノ協定ヲヤル、其場合ニ於テマサカ資本家ノ考ヘテ居ルヤウナ、金ノ儲カルヤウナコトニ重點ヲ置イテ統制ヲサレヨウトハ考ヘマセヌケレドモ、吾々ノ考ヘ方カラ言フト、今マデノ統制ト云フモノハ、往々ニシテ消費者デアル乗ル方ノ者ハ忘レテ、サウシテドチラカト云フト、ナコトニモナルカモ知レス、サウ云フ心配ガアルノデ、其方針ヲ御伺シタイト云フ譯デアリマス

鐵道大臣ノ考ヘ方トシテハ、今度ノ此法

ノ運用ニ依ッテ假ニ現状ノ賃金ヨリ上ルヤウナコトニ對シテハ、如何様ナ御考ヲ持ツカ、ソレヲ伺ツテ置キマス、現ニ東京市ニ於キマシテハ、今一錢ノ値上ヲヤッタラドウカ、是ハ此法ト睨ミ合ヒノ上ニ於テ、サウ云フ議論ガ出テ居リマスガ、サウ云フ現状ノ運賃ノ問題ト、ソレカラ將來ノ運賃ニ對思ヒマス

○中島國務大臣 只今申上ゲマシタ通リ調整ノ方針ガ、ヤハリ交通機關ヲ利用スル一般民衆ノ利便ト云フコトニモ重キヲ置イテ居ルノデアリマスルカラ、是ガ爲ニ運賃ガ上ルト云フヤウナコトハ、ヤハリ此調整法ノ第一條デモ運賃等ニ付テハ相當ノ命令ヲ爲シ得ルノデアリマス、尙ホ其他ノ法規ニ於テモ成ベク早ク一つ御配慮ヲ願ヒタイト思ス、併シ其上ヲ走ル「バス」ト云フモノハ營利ノ爲ニ走ツテ居ツテ、金儲ケラシテ居ルガ、何等使用料ト云ツタヤウナモノ、或ハ特別ノ稅金ヲ取ラレテ居ラナイノデアリマス、吾ノ考トシテハ此「バス」カラ道路使用料位ハ自治體ガ取ツテ然ルベキデアルト思ヒマスガ、内務當局デハ如何様ナ考ヲ持ツテ居リマスカ、一寸伺ツテ置キタイ

○勝田政府委員 只今ノ問題ニ付キマシテハ損傷負擔金ナンカヲ取ツテ居ル所モアリマスガ、取ツテ居ラヌ所モアリマス、サウ云フ點ニ付キマシテハ成ベク御趣旨ノヤウニヤツテ行クノガ本旨デハナイカ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○星島委員長 ソレデハ本日ハ此程度デ散ニ於ケル對象業者ハ入ラナイトシテモ、地方的ニ入ル、消費者ノ代表ハ入ルヤウニモカ、併シ是ハ構成ヲ見タ上ニケレバ、又常ニ危險ヲ感ズルヤウナ氣持ニナルノデスガ、併シ是ハ構成ヲ見タ上ニケレバ、又運用ノ問題デスカラ、是レ以上申上ゲテモイカヌト思ヒマス

次ニモウ一つは内務省ノ方ニ御伺シタイノデアリマス、先程永江君ノ質問ニモ一度議論ガアッタヤウデスガ、道路ヲ造ルノハ、國、府、市、自治體デ造ル譯デアリマス、併シ其上ヲ走ル「バス」ト云フモノハ營利ノ爲ニ走ツテ居ツテ、金儲ケラシテ居ルガ、何等使用料ト云ツタヤウナモノ、或ハ特別ノ稅金ヲ取ラレテ居ラナイノデアリマス、吾ニ答辯シマシタ中ニ、少シ言葉ノ足ラナイ點ガアリマシタノデ、茲ニ一言補足致シテ置キマス、ソレハ本法案要綱ハ東京市ニ諸問題シナカツタケレドモ、市ハ帝國鐵道協會ノ會員デアッテ、協會ニ諮詢致シマシタカラ、市ノ意見モ之ニ依ッテ現レテ居ル旨ヲ申シタノデアリマスガ、此要綱ハ何レノ事業者ニモ諮詢致サナイノデアリマス、事業者ノ加入セル鐵道協會トカ、鐵道同志會ニ諮詢シテ之ニ代ヘタト云フ意味デ申シタ次第デアリマス、斯ウ云フ風ニ訂正致シマス

會致シ、明日ハ午後一時ヨリ此委員室ニ於
テ開會致シマス

午後五時二十二分散會